

21世紀の飛躍めざし 愛労連10年の歩み

1989.11.17 ~ 1999.8

もくじ

真の労働戦線統一をめざして	2
愛労連結成10年、その到達点と課題	4
輝く二世紀のために 愛労連運動の展望	8
統一労組懇(前史) 軍事費を削ってなど一貫して	12
愛労連の10年(89年)カルセンター「愛労連」を結成	14
愛労連の10年(90年)第一回百川メーテーに一五〇〇〇人	16
愛労連の10年(91年)海外派兵阻止の声、小牧基地を包囲	18
愛労連の10年(92年)トヨタ総行動に一二〇〇人	20
愛労連の10年(93年)国鉄闘争勝利めざし国鉄フェスタ	22
愛労連の10年(94年)ピクトリー・マップ愛知版を発行	24
愛労連の10年(95年)悪政許すな!の国民大集会に十万人	26
愛労連の10年(96年)人間らしく働くルールの確立めざして「総対話」	28
愛労連の10年(97年)たかいのなかにがんばる「地域労連」	30
愛労連の10年(98年)「五六労組へ直接訪問」「総対話」「五五六労組へ直接訪問	32
愛労連の10年(99年)くらし・雇用守るたかいに「共同」の前進	34
愛労連の10年(年表)	36
愛労連歴代役員・事務局員名簿	48
愛労連加盟組織一覧表	54
編集後記	56

10年の運動の教訓を新たな前進の力に

眞の労働戦線統一をめざして



愛労連議長 阿部 精六

愛労連結成前夜は寝付かれないまま、早々に結成会場にむかいましたが、すでに会場では数人の方がこられて準備をはじめました。

生木を裂くような、上からの反共と労使協調、選別排除の執拗な攻撃とたたかいながら迎えた、一九八九年一月一七日。日本と愛知の新たな労働運動の前進を！の決意を胸に、愛労連結成大会に結集した仲間たちの顔・顔…まさに緊張に満ちたすばらしい船出となつたことを、今でも鮮明に覚えています。

この一〇年、愛労連運動に「ご指導・ご援助を戴いた多くの労働組合や民主団体、そして学者・研究者や政党の皆さん、愛労連に結集するすべての労働組合と組合員のみなさんに心から感謝を申上げます。

また、創生期の運動であり決して安易な道ではなかつたこの一〇年、時には自信をなくしたこと也有つた私たちを励まし、支えて下さいました先輩組合員の方々や、「家族の皆さんに重ねてお礼を申し上げます。

ハハ年八月、統一労組懇年次総会は、労働戦線をめぐる緊迫した情勢を分析し、「新しい階級的ナショナルセンターの役割と課題」(案)と「構成と運営の基本」(案)を提起し、全国に討論を呼び

かけました。これに応えて愛知統一労組懇は同年一一月、階級的ローカルセンター問題懇談会を開催し、「階級的ローカルセンター」（素案）を提示。これを受け各組合での学習・討論を踏まえつゝ、八九年六月に、一八単産・議長連名による愛知ローカルセンター結成準備会を発足させました。

そして発足以降六回に及ぶ「準備会全体会議」の議論を経て、参加組合の確認、運営要綱及び活動方針、役員及び事務局体制、アピールなどを確認し結成の運びとなりました。

一方、連合（統一促進会）や連合を後押しする政府・財界は、「一国一ナショナルセンター」を歓迎し、天安門事件やベルリンの壁崩壊などを利用しつつ、職場や産別での分裂攻撃を強め、「全労連の存在を認めない」構えを取り続けました。

思えば、連合結成に「抱擁してまで歓迎」と持ち上げた政府・財界の、新たな日本労働運動の変質と弱体化を目論んだ大がかりな労働戦線の右翼的再編攻撃とのたたかいの連續でした。私たちのたたかいで「全労連無視」はさせないなど、一定の変化を作り出していくとは言え、愛知県による地労委や各種委員会・審議会の労働者委員の特定の系統に偏った選任、労働組合基本調査のやり方などを見ても、基本的には、今なお全労連や反連合系組合の排除・無視の態度が貫かれていると言わざるを得ません。

いま、自民党政治の行き詰まりやバブル崩壊、不況の深刻さ、労働者の失業率や有効求人倍率の戦後最悪の状態、倒産・破産、自殺者の増大、教育荒廃や医療・年金制度の連續改悪、差し迫った介護制度の充実、戦争法の具体化阻止、加えて軒並み財政危機を抱える愛知県政はじめ地方政治の転換など、もはや一刻の猶予も許されない情勢のもとで一〇周年を迎えた。

それだけに愛労連は、この一〇周年を機に、小さくまとまるのではなく、すべての労働者を視野に文字通り「眞の労働戦線統一の母体」として、また、統一戦線促進の要としての役割を追い求めつつ、輝く二一世紀の実現にむけて一層奮闘する決意です。

特に、当面する国民春闘やリストラ反対など、「一致する要求」での総対話・共同の取り組みや労働相談活動の強化、未組織労働者や失業している仲間たちとの連携、さらに愛知総行動などの国民的・県民的要求での共同行動の強化、参議院選挙や知事選挙・首長選挙に示された国政・地方政府転換の流れなど、これまでの運動の到達点や教訓を生かして頑張りたいと思います。

愛労連結成一〇年、その到達点と課題

愛労連・全労連の結成に先立つ一〇年

一九八〇年代は、「社公合意」に象徴される政治戦線の右傾化と軌を一にして労働戦線再編成「カツコ付きの『統一』」がすんだ一〇年でした。かつての闘う総評は、特定政党支持路線を克服できぬまま同盟主導のこの再編成に追随し、八七年秋にはまず民間先行の「連合」についで八九年秋には官公労を加えた今日の新「連合」に吸収されて解散しました。八七年の民間「連合」結成の際、ときの竹下首相が「抱擁してつきあいたい」と歓迎したのは有名ですが、わが国の労働運動を労使協調（労使一体）と反共主義の中に囲い込もうとする右翼的再編成こそ「統一」の内実だと見抜いての歓迎だったのは明らかです。

労働運動の冬の時代とも言われたこの八〇年代に、春闘の変質策動や人減らし「合理化」に反対し、「軍事費を削って、くらし・福祉・教育の充実を」の大運動も提唱して闘つたのが統一労組懇をはじめ

めとする私たちの先達でした。いわゆる臨調「行革」路線のもとで強行された人

勧凍結や国鉄の分割・民営化・健保・年金・医療の改悪、農畜産物の輸入自由化と農業つぶし、消費税導入など、政府・自民党の悪政にも真っ向から反対しての闘いの日々でした。そして、新「連合」発足と同じ一九八九年一一月二一日、激しい反共・組織分裂攻撃と闘つて「たたかうナショナルセンター」全労連を結成したのです。「連合だけがセンター」の状況を許さず、資本からの独立、政党からの独立、一致する要求での行動の統一の三原則による「労働者・国民の利益を守る、まともな労働組合運動」の皆の誕生でした。

愛労連はこれに先立つ一月一七日に結成大会をもち、四日後には全国の仲間とともに全労連結成の歴史的事業に参画しました。井上利雄議長や阿部精六事務局長をはじめとする初代役員とともに、

愛知統一労組懇代表として八〇年代の運動をリードした中原東四郎、連合路線反対を鮮明にして愛労評顧問を解任され、社会党も除名・脱党した成瀬昇（元愛労評議長）の両「愛労連顧問」の顔も輝いていたのが印象的です。

その愛労連・全労連が間もなく満一〇歳の誕生日を迎えます。

この間、全労連は労働者の権利擁護と切実な要求実現をはじめ、消費税や社会保障など国民的課題でも、また戦争法案阻止、核兵器廃絶など平和・民主主義のたたかいにおいても、つねにその旗を高く掲げて全国の労働者・国民を激励し、階級的ナショナルセンターとして一〇年の歴史を刻みました。発足当時、ソ連や東欧の国々があいついで崩壊するなかで、政府や財界は「こんな時代に階級的センターは時代遅れ」とし、あからさまに全労連排除のシフトをしきましたが、結成時の一三〇万人を一五三万人に伸ばした組織の前進とあわせて、労働運動の本流としての全労連の存在はますますその輝きを増しています。以下は、その全労連を愛知で支えてきた愛労連の到達点と課題です。

一・働くもののくらしと権利を守り、
「人間らしく生き働く職場と社会」
をめざして

愛労連は結成時から、「労働組合は何よりも労働者の利益を守るために生まれた」という原点を大切にして全労連に結集し、たたかう春闘やメーデーの積極的な伝統を引き継ぎつつ、「人間らしく生き働く職場と社会」をめざして奮闘してきました。またこの目標達成のために職場と地域に根をはった組合づくりを大切にし、要求にもとづくすべての労組・民主団体との共同も追求しました。

運動面ではこの数年、県内過半数の労働組合への直接訪問と対話、県下のすべてのターミナルでの一斉宣伝など「対話・共同」と「総行動」を重視し、組合員の積極的な活動参加を呼びかけつつ、「要求の多数派」「行動の多数派」として目に見える活動展開に努めてきました。

春闘もストなし一発回答、働く者の祭典・メーデーも屋外集会やデモをやめるなど連合愛知が労働組合らしい闘いをほとんど放棄しているもとで、愛労連のこうした闘いは最近ではマスコミにも積極的に紹介されるようになつてきました。

が、それがまた労働者の期待・信頼を高め、労働相談の増加（九九年度は三七三件に及び、解雇撤回や残業代・退職金の支払いなど具体的に解決して喜ばれている）とともに、新しい労働組合の連続結成（九九年度＝二〇組合）としても結実しています。

この八月、工場閉鎖と解雇、「退職金三分の一、六〇回分割支給」の通告を受けた全金・木村刃物の労働者五名がこの通告を受け入れた組合を離れてJMIUに加入、私たちとともにこの合理化を指導した富士銀行との闘いにも立ち上がりていますが、マスコミにも大きく報じられた大リストラの下で断固とした闘いをすすめている日本IBMや日産村山工場の仲間への注目とあわせて、たたかう全労連・愛労連への期待を見ることができます。

愛労連は、愛知労問研と共同して「愛知ビクトリー・マップ」（大企業の巨額の内部留保の検証）を作成し、「大企業は社会的責任を果たせ」の世論を高めてトヨタ総行動を展開するなど全国に注目される独占・大企業包囲のたたかいもすすめきました。こうしたとりくみは春闘をたたかう組織内外の労働者を激励し、トヨタをはじめ大企業労働者の劇的な変化もつくりだしています。

また愛労連は、争議支援のたたかいではとりわけ大きな役割を果たしました。二二年の長きにわたつた中電の思想差別・人権侵害裁判を全面的に支援して歴史的な勝利に貢献したのはその典型ですが、ほかにもいくつもの解雇事件や差別事件の勝利解決に力を注ぎ、全勤労や労組会員一〇四七名の解雇撤回闘争も一貫してこれを支えるなど、「全労連・愛労連があつて本当によかつた」と言われる働きを示してきました。

こうしたとりくみのなかで闘う労働者のより所としての私たちの役割はますます鮮明になり、信頼が高まっていきます。結成当初は「ごく少数で、せいぜい数年のいのち」と見るむきもあった全労連・愛労連ですが、政府・財界の敵視・排除政策を打ち破り、要求を握つて離ぬ原則的な活動で組織と運動を前進させ、働くもののくらしと権利を守つてたかう頼りにされるセンターとしてその存在を確立・定着させてきたといえます。一時は東京を除いてすべての道府県

で排除され「連合独占」が強行された地労委・労働者委員について、今日、反・非連合系委員が五都府県七名に増えているのもこゝした活動の成果です。

全労連が呼びかけた「総対話・共同、一〇万オルグ運動」と数次にわたる「愛知総行動」の実践のなかで、すべての労働者を視野においてとりくみが単産・地域に広がり、愛労連の影響力も広がっています。

ただ、五万八千人という組織数は県内三一五万労働者からすればまだごく一部で、賃金・労働条件はじめ県内のすべての労働者に影響を及ぼすには決定的に「数」が不足です。これを補うためにも全組合員の活動参加と「対話・共同」のいつそつ徹底が重要で、こうした活動を強めつつ組織の飛躍的な拡大へ、特別に留意してとりくむ必要があります。また、全県に見える活動を広げて愛労連への参加組合を増やしてゆくためにも、地域労連の引き継ぐ強化が重要で、「単産と地域」とが対等の立場で労連を構成し、運動をするするめる」組織原則の重要性を改めて見つめなおすし、単産の地域結集もさらに強力にすすめる必要があります。

二 切実な県民（国民）要求実現、「住民が主人公」の政治をめざして

愛労連はまた、労働者固有の課題にとどまらず、切実な県民（国民）要求実現のために共同を広げてたたかい、国民が主人公の政治、革新・民主の県政・市政実現に向けても一貫して奮闘してきました。消費税減税や国民本位の不況打開、年金・医療・介護など社会保障制度の拡充、教育、コメ、環境、平和・民主主義など、全労連・愛労連がこの課題で果たしてきた役割の大きさは歴然としており、それは戦争法案反対、藤前干渴の全面保全、県の補助金カット反対をはじめこの一年の活動でも証明できます。

とりわけ最近では自自由公三黨の野合による悪政が際だつなかで、広範な国民のなかに「悪政ノイ」の怒りが渦巻いています。これまで政府・財界寄りの制度・政策要求を掲げてきた連合も組合員の声に押され、労働法制、年金など課題によっては大衆的な反対行動に出る変化が生まれており、「戦争法案反対」の一点での陸・海・空・港湾労働者の共同をはじめ、盜聴法、日の丸・君が代、不況打開、雇用・失業対策などでは労働組合の枠組

みを越えた草の根からの共同が広がっています。そして、労働組合としてこうした運動の軸になつてるのはつねに愛労連であり全労連なのは事実が示すところです。自自由公三黨の悪政がかれらの支持基盤を掘り崩し、「自民党政治ノイ」の声がかつてなく大きくなつていることに確信をもち、広範な労働者・国民と連携して引きつづき奮闘することが求められます。

またこの数年、暮らし・福祉・教育を破壊し、財界・大企業本位の開発行政をすすめる県政の転換をはじめ、住民本位の地方政府を求めるたたかいが県下の少なくない自治体でとりくまれ、清洲と阿久比で相次いで共産党員町長が誕生するなど、「住民が主人公のまともな政治」を求める声も広がっています。自民党を中心とする「オール与党」政治を支える連合愛知と比べて、この分野での愛労連や地域労連の役割も大きなものがあり、住民の期待も高まっています。県知事選挙で、「職員の賃金や定員を削り、くらし・福祉・教育へのわずかな補助金までカットして、なぜ今、万博・空港か」の疑問と怒りをバックに、「オール与党」候補相手に八〇万票に迫る得票を得た影



ンターが存在するもとでも長期で継続的な共同戦線を築く重要性を強調し、その積み上げのうえに「労戦統一」を、と呼びかけ、当面、全労連の主体的力量の強化が決定的に重要と訴えています。愛労連としても、要求にもとづく対話・共同を引き続き追求すると同時に、愛労連の主体的力量強化と市民権確立をとりわけ重視し、二一世紀の労働戦線統一を展望できる条件をつくることが大切です。

輝く二世紀のために―愛労連運動の展望

一・矛盾の深化、激動の情勢を迎えて

全労連・愛労連が結成された八〇年代の終わりは、ソ連・東欧の崩壊や中国・天安門事件などの結果、「資本主義万歳論」や「保革対立消滅論」が宣伝され、政府・財界だけでなくマスコミも「階級闘争は時代遅れ」と報ずる状況がありました。また当時、日本経済はバブルに浮かれ「ジャパン・アズ・ナンバーワン」を謳歌、八〇〇万連合の発足は「かつてない巨大な労働団体の船出」として祝され、全労連の発足は不當に小さな扱いでした。

しかし一〇年を経た今、様相は一変、今日の日本経済は展望のない袋小路に入りこんでいます。アメリカ多国籍企業のグローバル戦略が破綻しつつあるにもかかわらず、財界は海外生産を高め産業空洞化をさらにすすめる一方、国内では設備・債務・雇用の三つの過剰、とりわけ過剰雇用を意図的に宣伝して賃金・人員

削減と労働条件の抜本的な改悪、不安定労働者への置き換えなど、徹底したリストラを行っています。今年の賃下げ春闘や四%・三百万人をこえる完全失業、日産とルノーの提携による三万五千人の人員削減などはその典型ですが、この先に日本経済の発展があるとはとても思えず、労働者・国民のなかにはやり場のない怒りが充満しています。

ヨーロッパではすでに市場原理主義と規制緩和路線をすすめてきた保守政権は軒並み崩壊し、週三五時間労働制（独・仏）、全国一律最低賃金制（英）、解雇規制法（独）など、労働者保護と時短によるワークシェアリングが定着しようとしています。過剰なのは雇用ではなくて労働時間と大企業の暴利です。愛労連がビクトリーマップで示してきた賃下げなしのワークシェアリングの方向こそ三つの過剰をなくす決定打であり、大幅賃上げ・大衆減税こそ国民本位の不況打開の決め手です。

また、財界本位の規制緩和や、中小企業や商工業者、農民、労働者にも弱肉強食を押しつけ、競争に敗れた人をさらに競争にかりたてるセーフティネットも構想されていますが、まさに一部の大企業だけが生き残り、企業家も含めて労働者・国民犠牲の国づくり構想と言わなければなりません。連合を含めたすべての労働組合、中小企業家などとも共同した国民本位の大企業の民主的規制を含む経済システムの確立と、人間らしく働くルールの確立が不可欠です。

次に、今日の日本政治も展望のない袋小路にあり、その根本的転換への足音が聞こえ始めています。

まず、消費税増税や医療改悪など九兆円の国民負担増で不況をいつそう深刻にしただけでなく、大銀行には六〇兆円もの税金投入を決め、破綻が明確になつたゼネコン型大型公共事業に湯水のように金を注ぎ込む政治¹¹、「公共投資に五〇兆・社会保障に二〇兆」の逆立ち政治への怒りです。また労働法制大改悪に加えて産業再生法で大企業のリストラを強力に援護し、失業者と不安定労働者を意図的につくりだす政府、介護・年金・医療など社会保障の連続改悪をすすめながら

「福祉目的税」名目での消費税率引き上げを構想する三党合意、海外権益の擁護を求める財界とアメリカの軍事要求に応え、平和憲法を骨抜きにしてこの国を「戦争する国」に転換する策動など、いま自公政治はやりたい放題に見えますが、この道に未来はなく、その横暴が彼ら自身の支持基盤を深く掘り崩しているのは明らかです。

まさに愛労連・全労連の出番です。年頭の朝日新聞は国民の七九%が「将来生活に不安」をもち、九〇%の人たちが政治・経済・社会の基本的仕組みの転換を求めている世論調査を紹介して注目されましたが、最近の選挙での日本共産党的躍進や革新・民主の自治体の前進、環境

・空港問題などの住民投票運動の広がりなどはこうした世論の反映でもあり、愛知の場合、先に述べた清洲や阿久比町長選挙の結果、さらには二月知事選での影山候補の健闘などに、県民の同様の思いを見ることができます。

日本の社会は、先進諸国に例をみなさい過労死を生み出すような長時間・過密労働、サービス残業や女性差別などが横行し、労働者・労働組合の諸権利も著しく制限されています。

二・愛労連・全労連のめざす二一世紀

二一世紀が目前の今、新しい世紀を人間らしく生き人間らしく働くことのでき

る世紀とするために、私たちが果たすべき役割はきわめて重要です。

私たちがめざす二一世紀は、全労連・愛労連大会で確認した目標にその基本方向が示されています。

愛労連は、職場と地域を基礎に全国の仲間と固く団結し、暮らし・雇用・不況打開の面でも、介護・年金など社会保障の面でも、戦争法阻止など平和と憲法を守る課題でも、さらには、「補助金カット反対、万博・空港こそ見直せ、県政の民主的転換」という県民課題でも、これまでなく前進している共同をいつそう幅広いものに発展させ、次の基本目標の実現をめざして奮闘する必要があります。

日本の社会は、先進諸国に例をみなさい過労死を生み出すような長時間・過密労働、サービス残業や女性差別などが横行し、労働者・労働組合の諸権利も著しく制限されています。

二一世紀の初頭には「ルールなき資本主義」の日本から脱却し、「労働者保護法」を制定させて、国際労働基準が守られる社会的ルール、人間らしく生き働くルールを確立します。

労働者・労働組合の権利に関わる日

本の行政は、欧米諸国では考えられない偏向行政がおこなわれてきました。二一世紀初頭には公正で民主的な行政ルールを確立し、労働委員会をはじめとする各種審議会の民主的な構成、任命を実現します。

二一世紀初頭の日本社会において、国民生活の最低基準としてのナショナルミニマムを確立します。それは、全国一律最低賃金制度の確立、雇用と失業者の生活保障、労働基本権の全面的な回復、医療・福祉・年金・介護制度の拡充などです。

二一世紀初頭の日本社会においては、小選挙区制や政党助成金などの非民主的な制度を廃止し、国民の意思が公正・民主的に反映する選挙制度の確立を図ります。そして労働者と国民が主人公となる政治を実現します。平和憲法を生かした国づくりをすすめ、世界平和と国際経済に貢献します。中部財界と大企業が勝手放題にするリスストラ・合理化をやめさせ、製造業・モノづくりに優れている愛知の特徴を生かして、大企業と中小零細企業、商工業者、農林漁業のバランスがとれた地域経済の発展をはかります。

万博、中部国際空港などにみられる財界のすすめるムダな地域開発や行革大綱をやめさせ、愛知県財政を立て直して県民生活を向上させる愛知県政を実現します。

三・結成の初心に返り、期待に応える 愛労連運動の新たな前進

労働戦線再編成「全労連と連合並立から一〇年が経過した今、労働組合運動にも新たな変化の兆しがあらわれ始めているのは既に述べたとおりですが、いま、全労連・愛労連に対する期待は、労働者はもとより、広範な国民・県民諸階層と民主団体のなかでもますます大きくなっています。

そして、経済でも政治でも矛盾が深まり袋小路に落ち込んでいる今日の情勢と労働者・県民の実態・要求から見て、全労連・愛労連結成とその存在意義は二一世紀の輝かしい展望を切り開く労働組合運動と国民運動にとってかけがえがない、私たちはまさにその真価を問われるとき、創生期から建設期への転換点、飛躍のときを迎えたと言わなければなりません。

厳しい現状をたたかいで切り開き、来るべき二一世紀を希望のもてる輝く時代とするために、心をかよわせ力を合わせて前進しましょう。

(一九九九年一月)



愛労連一〇年のたたかいの到達点と課題をしつかりとふまえ、その弱点・不足を前進的に克服して大きな期待に応えるため、すべての単産と地域労連が愛労連結成当時の燃えるような初心に一度立ち返ること、そして改めて「職場と地域を、愛知とこの国のあり方をよりよく変える」大志を持ったたたかいに立ち上がることが求められます。

愛労連はまだ組織的には少数者ですが、学習と対話を日常的に組織し、組合員一人ひとりが主人公となる運動、要求で団結し行動する活動、そして「対話・共同」による広範な労働者・県民の結集をめざすなかで必ず情勢を切り開き、組織的にも多数者への道を歩むことができます。

（一九九九年一月）

愛知県労働組合総連合綱領

私たちは、労働者の経済的・政治的諸要求の実現をはかり、男女差別をはじめあらゆる差別をなくし、労働者のいのちを守り、健康で文化的な生活の向上、基本的諸権利の確立、社会的地位の向上をめざしてたたかいます。

私たちは、国民的・県民的な要求・課題についての諸運動の発展に力をつくし、青年・婦人・高齢者をはじめ県民各層と連帯し、共同のたたかいをすすめます。

私たちは、労働組合運動の積極的伝統を受けつき、たたかう労働者・労働組合のエネルギーをくみつくし、未組織労働者および年金受給者の組織化につとめ、運動と組織の発展をめざしてたたかれています。

私たちは、資本・政府からの独立、政党からの独立、一致する要求にもとづく行動の統一という原則による労働戦線の統一をめざします。

私たちは、大企業の横暴に反対し、広く中小商工業者、農民、漁民などと協力し、産業・経済の民主的発展と明るく住みよいまちづくりをめざします。

私たちは、郷土の自然を守り、すぐれた文化を受けつき、人間性の豊かな発達と、教育・文化・スポーツの民主的発展をめざします。

私たちは、憲法をくらしのなかに生かし、住民の生活と権利の向上をめざす革新自治体の建設のためにたたかいます。

私たちは、国民本位のくらしと政治、非核、非同盟・中立、平和、民主の日本を実現する統一戦線の樹立をめざします。

私たちは、世界のたたかう人民や労働組合と相互の自主性を尊重し、共同目標の実現のため、国際連帯・交流をすすめます。

私たちは、労働者・労働組合の団結権・団体交渉権・争議権の完全確保をめざしてたたかいます。

1989.11.17まで

軍事費を削つて…。大企業の横暴規制…。 の突破口ーaganを一貫してかかげて

全労連とともに、一九八九年十一月十七日に愛労連が結成されました。

この愛労連に、愛知統一労組懇（愛知統一戦線促進労働組合懇談会）の運動が引き継がれることによって、愛知統一労組懇は十四年間におよぶ歴史的役割を終え、発展的に解散しました。

一九七六年四月一〇日

愛知統一労組懇を結成

統一労組懇の結成は、一九七四年十二月五日。労働運動の階級的潮流が、要求実現をめざす労働組合運動の階級的強化のためには、眞の労働戦線の統一と革新統一戦線の実現をめざすことが必要として、六九年の「全民主勢力の統一」のための三八単産アピール、七〇年の「民主勢力の統一促進労働組合懇談会」の発足、七一年の「労働戦線統一についての

七項目提案」を経て結成されました。

統一労組懇は、その運営要綱で明らかにしているように、「戦後労働運動の階級的民主的潮流の伝統をうけつき、革新統一戦線の結成、情勢にふさわしい問題提起、大衆的共同行動の提起、全国的な、全産業的な強固な団結をつくりあげるために活動する」との基本方向のもとに、結成当初から労働者・国民の経済的・政治的要求の実現、労働戦線の統一と階級的ナショナルセンター確立、革新統一戦線の結成をめざして活動してきた組織です。



愛知統一労組懇は、この統一労組懇の地方組織結成の呼びかけに応えて、一九七六年四月十日に二〇組合の参加のもとで結成されました。

よびかけ人10氏（アイウエオ順）

内田 基大（全日自労愛知県支部委員長）

小川 春水（名古屋水道労組委員長）

大塩順一郎（全港湾名古屋支部委員長）

鈴木 正明（愛知地方建設労組委員長）

中原東四郎（自治労愛知県本部委員長）

永井 清明（愛知私教連委員長）

中者 輝治（愛知県国公会議議長）

原 哲郎（名古屋市立高教組委員長）

広田 利雄（全自運愛知地方本部委員長）

富崎 雄介（愛知県高教組委員長）

愛知のたたかう仲間の期待をうけて誕生した愛知統一労組懇は、結成と同時に、国民の大きな怒りとなっていた田中首相によるロッキード疑惑に対し、「金権・戦犯・売国政治を打破するため労働者のみなさんへ訴える」というアピール採択活動をスタートにして、「愛知における統一戦線をめざすシンポジウム」や「国民春闘討論集会」などの活動をしてきましたが、七〇年代は主に学習・交流会などが中心的な活動でした。

労働戦線の右傾化が加速

統一労組懇の

体制と運動を強化

しかし、反共・安保容認の「社公合意」によって、総評が八〇年代に入ると右転落をし始めました。総評に追随する愛労評も同じように事実上、安保容認・労使協調の路線を強め、ローカルセンターとしての機能を急速に失っていきました。こうした状況のもとで、統一労組懇は七九年に「労働戦線の統一・真のナショナルセンターのあり方」をめぐる全国討論をよびかけるとともに、体制と運動を強化してきました。愛知統一労組懇も學習・交流中心の活動から、情勢にふさわしい運動と要求実現をめざす運動体へと移行することになり、愛知における労働運動の民主的発展と要求実現をめざす運動の中心的な役割を果たしてきました。

労働者・国民の要求実現へ いつも先頭で奮闘

統一労組懇が、その役割を終えるまでの、とりくんできた運動を振り返つてみると、国民春闘の新しい流れをつくりだ

す運動をはじめ、「未組織総行動デー」のとりくみ。全県下を視野にいれた、軍事費を削つてくらし・福祉・教育の充実を求める活動。八四年の「七・二九中央大集会」への四〇〇〇人の代表派遣をはじめ、くりかえしおこなわれた中央集会・国会要請行動への代表派遣での中心的な役割。依佐美基地を包囲した、トマホーク来るな「人間のくさり」。大企業の横暴を規制し、社会的還元を迫るたたかいな役割。たたかう運動の伝統を

いとして継続して追求した「トヨタ総行動」。革新名古屋市政の継続発展と市長選挙のとりくみ。国鉄「分割・民営化」反対闘争。大型間接税・消費税反対闘争。老人医療有料化反対のとりくみなど平和と民主主義擁護のたたかいへ、労働者・労働者の権利とくらしを守るたたかいへと、反動政治がもたらすときどきの国民党・労働者いじめの悪政に対し、多くの労働者・国民の要求を実現するための共同をつくりあげるために、積極的な活動を開いてきました。

愛労連へバトンタッチ たたかう運動の伝統を

このように愛知統一労組懇運動を発展させ、愛労連に運動を引き継ぐことができたのは、「資本からの独立・政党からの独立・一致する要求にもとづく行動」の三原則を大切にしながら運動を開いてきたこと。安保優先と大企業本位の自民党政治が労働者・国民のくらしのあらゆる分野で大きな矛盾をつくりだしていることで、平和とくらしを守るために常に先頭にたって奮闘してきたことによるものです。



89年度

1989.11.17~12月

愛知のたたかうローカルセンター 熱い期待と共同の広がりのなかで

『愛労連』を結成



愛労連結成大会...21単産・単組15地域が加盟。
他に3組合7地域がオブ加盟。73,000人を結集

一九八九年十一月十七日、多くの労働者・労働組合、民主団体、県民から期待され、待ちに待った「愛労連」(愛知県労働組合総連合)が県下のたたかう労働組合の総結集で結成されました。井上利雄・初代議長は、「明るく、親しまれ、頼りになる、そんな愛労連をめ



愛労連スタートは、新事務所で

ざしたい」と決意を表明。「愛労連」のめざす道、基本的構想や綱領・規約は、討論のなかで一〇〇を超える補強意見がだされたみんなの知恵と力でつくりだしたものでした。結成総会は、「みんなで決めて、みんなでたたかう」愛労連を大きく、の決意を固めあいました。

11・21全労連を結成

「希望に輝く未来のために、いまどもにたたかおう」のスローガンを掲げ、東

世相

リクルート事件・マドンナ・内外価格差・ホタル族・ふれあい恐怖症・オバタリアン・濡れ落ち葉・セクハラ・クロワッサン症候群・お局様・みづぐ君

地域労連も次々に結成

全労連・名古屋中地域労働組合センター

八九年十一月二日 尾張中部地区労働組合総連合

八九年十一月五日 千種・名東地域労働組合総連合

八九年十一月十二日 名古屋中川地域労働組合センター

八九年十一月十五日 守山地域労働組合連合会

八九年十一月十五日 港地区労働組合協議会(定期大会で加盟)

八九年十一月十六日 一宮地区労働組合総連合

八九年十一月二十五日 全労連愛知・中村地域労働組合センター

八九年十一月二八日 熱田区労働組合会議

八九年十一月十四日 名古屋南地域労働組合総連合

八九年十一月十九日

京・日比谷公会堂で、一九八九年十一月二一日、二七単産・四一地方組織・一四〇万人の組合員が結集し、たたかうナショナルセンター・全国労働組合総連合(全労連)が結成されました。

歴史家は「歴史は創造的少数者によつて拓かれる」といいます。

愛労連結成十年余の歩みは、まさにこの栄誉を担つた試練と苦闘の連續でした。私たちは、労戦統一の選択で新しく階級的ナショナルセンター結成という創造的歴史的事業にいち早く参加し、意気高くなつちあがりました。

この愛知は、「ガメツイ哲学」を誇り、人間カンバン方式という非人間的な労働を強制し、金儲け連続日本一のトヨタを中心に大企業と「連合」派勢力の影響が際だっています。

長時間残業日本一、労働災害、過労死、不当労働行為があいつぐなど『労働者地獄』の地域で二六〇

愛知の労働運動に「確固たる存在」

親しまれ、頼りにされるローカルセンターめざして

路と役割」、規約・運動方針」「地方連合会の結成について」「統一労組懇の『階級的ナショナルセンター確立の展望と骨格』」などについて白熱した討議を積み重ね、眞に労働戦線統一の母体となりうる組合員が主人公の新しい綱領と規約をつくりあげました。結成後は、労働者の団結と統一の力を歪め資本の手先、悪政の助つ人となる「連合」路線に反対し、「人間らしく生き、

万労働者の内の七割近くが未組織状態です。

この地に、まじめに、まともにたたかう労働者の根性と労働組合の存在を示し、「親しまれ、頼りになる」大きなローカルセンターを確立することが愛労連結成の意義と役割でした。

このとき私たちは、「労働組合とは」、「階級的ナショナルセンターとは」、「ローカルセンターの役割」、「連合の『進

働くために」「職場と暮らしに憲法とのスローガンのもと共同の広がりを大切にし、全力投球をしてきました。いまや愛労連は、働くものの切実な要求実現と希望に輝く未来を拓く団結と統一の砦として「確固たる存在」となり、労戦統一での私たちの選択が「確かな選択」であつたことを実証しています。

平和と民主主義を守り、資本の横暴と悪政に立ち向かうたかたのなかで共同する人々から『愛労連があつてよかつた』とよくいわれますが、この言葉は「頼りになるローカルセンター」として愛労連が認められ励まされていることの現れです。労働者の唯一の社会的力は団結と統一してたたかう「多数の力」です。労働組合の組織率が低く、多くの人々が未組織状態にある現在、愛労連が『大きな数』『大きな力』『大きな影響力』をもつローカルセンターとしていつそう輝くよう、ますますのご奮闘を期待します。



愛労連・初代議長
井上 利雄さん

九〇春闘に、第六一回白川メーデーに

90年度

1990.1~1990.8

たたかう愛労連をアピール

2/26

名古屋地裁に提訴

知事の偏向行政、差別行政を正し、労働者の救済機関としての地労委本来の機能をとりもどすたたかいとして裁判へ。

原告は、愛労連、国労愛知県支部、自治労愛知県本部(現自治労連)、愛医労(現医労連)、全国一般あいち支部、同・



名古屋市職と名水労が本庁合同集会



「90春闘アンケートビラのイラスト」

愛知共済会を設立 3・10
働くものの助け合い制度の充実をめざして愛知共済会を設立。

全明治屋労組名古屋支部、それらの組合から推薦されたのに任命されなかつた成瀬昇・坂崎進・渡辺三千夫・黒島英和の四氏の合計十団体・個人。

全労連・愛労連は、結成後はじめての春闘として意気高くてたたかいぬきました。自粛要求・一発回答による「春闘管理」が一層強められるもとで、愛知春闘共闘は、労働省・愛知県・日経連・連合のどの妥結集計よりも、額・率ともに上回る成果をつくりだしました。

妥結状況／六月一五日現在

連合愛知	春闘共闘
一一九七四円／五・九一%	一五一二六円／六・三七%

90春闘 「がんばり」の差
数字(妥結)にもクッキリ

約三二〇〇〇人分を集約した要求アンケート、未組織むけのアンケートビラ、三次にわたる門前・社宅、ターミナル宣伝。六単組一七五〇〇人が参加した六年ぶりのストライキや十七単組での職場集会をたたかった全労連自治労(現自治労連)、運輸一般、医労連、全勤労、全国一般、紙パ、JMIUでのストライキ。全職場集会の愛高教、国公共闘が二五ヶ所で地域集会、医労連の白衣の行動など「たたかう先頭に愛労連あり」の状況がすべての単産・地域で展開されました。

国鉄闘争で 4・25

全労連が臨時大会

国鉄闘争は、労働運動の「再生の環」と位置づけ。組織の総力をあげてたたかう方針を確立しました。

4/27 メーデー前夜祭に
八〇〇人



「この重ねて」と題した青年を中心とした構成劇（タイムスリップ）で過去を転々。たたかうメーデーの歴史を学び、現実の矛盾に気づくストーリー）、保母一〇〇人や白衣の大合唱、港湾のうたごえ、愛高教・大野憲一さんのテノール、合唱団サボテン、メーデー歌をうたう合唱団など手作りの前夜祭。同日、西三河でも前夜祭、二〇〇人が参加しました。

第61回
メーデー

白川メーデーに
一五〇〇〇人



写真は、第62回愛知県中央メーデー

地域労連も次々に結成

名古屋東区労働組合総連合

東三河労働組合総連合 九〇年 三月 七日

海部・津島労働組合総連合 九〇年 三月十一日

名古屋北区労働組合総連合 九〇年 三月十七日

愛労連緑地域労働組合セントナ 九〇年 四月 三日

瑞穂区労働組合総連合 九〇年 四月十一日

愛労連・天白地域労働組合セントナ 九〇年 五月一〇日

全労連岡崎・額田地域労働組合セントナ 九〇年 六月十四日

全労連豊田・加茂労働組合総連合 九〇年 九月十四日

尾北地域労働組合総連合 九〇年 九月二三日

西三河南地域労働組合総連合 九〇年 九月二九日

知多地域労働組合総連合 九一年 一月一二日

尾張東地域労働組合総連合 九一年 一月二三日

愛労連・昭和区労働組合セントナ 九一年十一月 六日

名古屋西地域労働組合総連合 九二年十一月十九日

名古屋東地域労働組合総連合 九四年一月二〇日

世 相

バブル経済・湾岸危機・リストラ・働くだけが人生か・ウエルネス・イタめし・おやじギャル・ホスト化現象・花婿学校・臨海副都心・ハローワーク・パラドル

91年度

1990.9 ~ 1991.8

平和守れ、憲法守れの声大きく 2・11 怒りのデモ行進、小牧基地を包囲

10/21

自衛隊の海外派兵反対

一〇・二一集会に七〇〇〇人

戦後四五年、政府・自民党は、中東情勢を利用し、自衛隊の海外派兵を公然とうちだしてきました。「僕、平和が好き」のゼッケンを掲げた子どもの姿も目立つ幅広い参加の集会となりました。二七日には、婦人協と青年協が「もんぺ姿と軍服」で栄周辺でビラ配布。



航空自衛隊小牧基地前でシュプレヒコール

愛労連結成(1989.11.17)以降、1年間での未組織の組織拡大状況

<1990.11.25現在>

単産名	組織した組合	人数	単産名	組織した組合	人数
全港湾	協和陸運分会	18	建設一般	愛知ダンプ分会	6
"	由良海運分会	30	"	学童保育西三河	15
医労連	好生病院	80	運輸一般	尾張タクシー分会	1
"	清水会労働組合	81	"	丸門運輸分会	1
"	"相生山病院支部	53	私教連	尾閑学園教職員組合	23
J M I U	日本IBM名古屋分会	10	愛高教	岡崎ろう学校分会	5
"	共同機械支部	20	郵産労	(単産結成)	30
"	日本NCR名古屋分会	4	年金者組合	(組合員の拡大)	718
"	愛知支部水谷分会	15	福保労	(組合員の拡大)	108
全国一般	あいち支部ト-ナン分会	14	自治労連	愛知自治体一般を結成	

91春闘 より人間らしく
変えよう職場と社会

二月二十四日のトヨタシンボ、二七日の愛労連総行動、三月二八日の春闘決起集会と知事選、統一地方選など政治闘争にも力いっぱい奮闘の九一国民春闘。

郵産労 三十人
(郵政産業労働組合愛知県協議会)
一九九〇年九月二一日結成
愛労連第三回定期大会で承認
銀産労 十九人
(銀行産業労働組合愛知県支部)
一九九一年二月十七日結成
第三回大会第二回評議員会で承認

この1年間で
解決した争議

全国一般山下分会
運輸一般
瀬戸丸一分会
建設一般
保育パート三河分会
医労連
中電診療所分会

2/11 小牧基地包囲大行動 全国から一〇八〇〇人



決起集会が開かれた春日井市の美濃町公園には、親子・家族、職場・地域ぐるみで参加した地元愛知をはじめ岐阜、三重、静岡の東海各県や東京、京都、大阪、兵庫など全国二〇を超える都道府県、約三〇〇団体から続々とつめかけ、小牧基地まで長蛇のデモ行進でアピール。

海外派兵法阻止県連絡会、全労連、愛労連のよびかけでおこなわれた「二・一一小牧基地包囲大行動」には、一〇日あまりの準備期間という緊急な行動にもかかわらず、湾岸戦争反対、憲法違反の自衛隊派兵と戦費負担許すなの全国からの怒りの声が大きく合流しました。



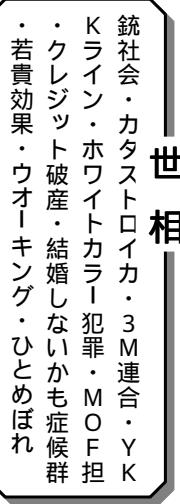
社会保障の充実、いのちと健康を守るたたかいへ

六月二二日、愛知社会保障推進協議会が再開総会を。また、七月七日には、愛知働くもののいのちと健康を守るセンターが、労働者・労働組合、民主団体の大きな期待のなかで新たなスタート。

大きな反響呼んだ

第一回愛労連労働学校

九月に四回の開催。のべ一九四人の青年が参加。職場・国鉄闘争・青年運動などバラエティーに富んだ内容は好評。



9/1 第一回愛労連労働学校 愛好者78人が熱戦

小選挙区制粉碎へ、各地域労連も民主勢力とともに地域連絡会を結成。宣伝・署名、集会・提灯デモ、議会請願、地元国会議員への要請とたたかいの先頭に。

小選挙区制粉碎へ ひろがる地域でのたたかい

92年度

1991.9 ~ 1992.8

「連合」の牙城で春闘決起集会 トヨタ総行動に――〇〇〇人

10/19

第二回愛知食糧メーデー

名古屋市港区の港北公園で開いた第二回愛知食糧メーデーは、愛知県青年団協議会や消団連も参加。組合員や近くの団地の子連れのお母さんなど、約二〇〇〇人が秋の一日、産直の美味を堪能。

――〇〇〇の農協へ申し入れ

――〇月七日～九日、コメの輸入自由化反対で宣伝と合わせ、――〇〇〇農協への申し入れ行動(グリーンウェーブ)を開催。

11/10
スクラムフェスタ
二七争議団が交流・連帯

「ヤル気、遊気、出しちゃいな祭」と人間らしく生き、働く職場をめざしたかう労働者・労働組合が交流会。勤労会館大ホールに――〇〇〇人が大集合。

地労委

県庁前に座り込み

10・29～11・8



11/20

ナースウェーブ
看護婦を増やせと

白衣の大行進

「ゆきとどいた看護をするため、看護婦さんを増やしてほしい」は国民みんなの願いです。医労連や自治労連を中心に実効ある看護婦確保法を求める「白衣の行動など宣伝・署名をすすめ、全国で四五〇万、愛知で二四万の署名を達成。党派を超えた国會議員からの賛同・支持をかちとり、六月十九日、一二三国会で「看護婦確保法」を成立させました

3 / 20 第十一回トヨタ総行動
自治労連が
豊田で春闘決起集会



自治労連が、「連合は春闘をまともにたたかおうとせず、会社と一緒に管理春闘をすすめている。代表格のトヨタを包围し、春闘勝利につなげよう」と提起、九二春闘決起集会を豊田で開催。大企業包围・大企業のボロもうけをはきだせるとりくみとして積み重ねてきたトヨタ総行動と合流、豊田市内の集会・デモとしては最大の一〇〇人が集まりました。

ハ九年に、白衣の銀座デモが始まつたナースウェーブのたたかいは、沖縄から北海道まで全国で展開。愛知でも県庁をとりまく「白衣の輪」行動に三〇〇人が要求実現の思いを託した色とりどりの風船を紺碧の空に放ち、「看護婦ふやせ」と栄まで白衣でデモ行進、市民にアピール。

ナースウェーブも十年の歩み
県医労連委員長 加藤瑠美子
職場・地域でも、名古屋市職労病院支部の白衣の「人間の鎖」行動や、愛厚労の「八日夜勤協定化」などとりみ、以後毎年、春と秋にナースウェーブ行動を。小規模保育所への補助制度など要求を前進させました。

この1年間で
解決した争議

私教連尾関学園
運輸一般
岐阜レミコン分会
全国一般
ナトコ労組
銀産労
東海銀行争議
全国一般
全明治屋労組

ほめ殺し・守旧派・複合不況・共生・PKO・知的障害・冬彦さん・不燃ごみ・お上り・地雷女・サービス残業・カルト・バタフライナイフ

世相

PKO阻止の地域連絡会(三一結成)を軸に、宣伝・署名、集会にと奮闘。

6 / 15 自民・公明・民社の三党が
PKO協力法を強行



交運部会が自動車パレード

92春闘 スローガンは、
からだ元気・くらし豊か

「人間らしい職場と社会」をめざして週四〇時間労働・完全週休二日制などを求めた「人間回復署名」が職場や地域に大きな反響をよびました。

93年度

1992.9 ~ 1993.8

国鉄フェスタ in あいちに九〇〇〇人 一〇四七名の不当解雇撤回を

10/18 JRを住民の足に
国鉄フェスタあいち

「来て、見て、聞いて。みんないつしよに国鉄フェスタ」のよびかけに、会場の白川公園には九〇〇〇人の労働者・市民が家族づれで参加。おいしいバザーに舌鼓を打ちながら、鉄道の安全は、職場に民主主義が保障されてこそその思いを共有、「JRを住民の足に」「一〇四七名の解雇・不当差別撤回」の決意を。

11/29 国民要求実現大集会
会場埋めつくす十三万人

佐川・暴力団疑惑の徹底糾明、自衛隊海外派兵反対、国民本位の不況対策などをスローガンに東京・代々木公園で大決起集会。愛知から一一〇〇人が参加。



ミニSLやバザーにも人気の人だかり

愛知で10年、愛労連とともにたたかい続けてきた国鉄闘争

国があこなつたあからさまな不当差別に、社会正義も、自分と家族の生活も奪われた国鉄「民営・分割化」全労連が、臨時大会を開き、組織をあげてたたかうことを決めたことに勝利の展望を見いだして名古屋で常駐オルグとしての運動を始めました。

愛知の仲間の支えと励まして、夏の名古屋の生活や、毎日のオルグにチラシまき、「一日」行動の宣伝カードでの訴えも、元気に楽しく活動することが出きるようになりました。

重要な局面を迎えた国鉄闘争、「政府・JRの責任を認めた」勝利めざし、十三年間止まつた家族との生活の時計を動かし、多くの仲間に元気を返すためにも。もう、ひと踏ん張り!

全労働争議団
工藤 博志

依佐美基地包囲

日本平和大会

11/23 「人間のくさり」行動

九二日本平和大会に、愛知をはじめ全国から参加した五〇〇〇人の仲間は、大会最終日の二三日、平和の手と手をつなぎ合い、依佐美基地を人間の鎖で包囲。基地の早期返還とともに、違憲・違法のカンボジア派兵を強行した宮沢内閣への怒りの声を響かせました。



世相
ゼネコン・やらせ・少年法・ダイオキシン
・コンサバ・アンビリーバブル・ドーハの
悲劇・イエローキャブ・マニユアル君・摸
触障害・清貧・謎本

社会保障の充実めざし

一月二〇日～三一日

愛労連第一回社保学校

医療・福祉の充実や年金制度改悪阻止のたたかいへ、社会保障の今日的意義をつかみなおし、「豊かな老後のために公的年金制度改善を求める請願」署名のとりくみを推進しようと開催。社保協では毎月一回の年金相談室を開設しました。

93春闘 大企業労働者との 共同の拡大を追求

九三国民春闘勝利をめざす学習討論集会には、新日鐵、三菱、中電、トヨタ、日立、住友金など県内の大企業職場から

も多数の参加、幅広い戦線の構築が強調されました。春闘本番は、一月十一日「不況打開、九三国民春闘・争議勝利をめざす愛知総行動」や、トヨタ総行動、三・一七、四・七のストを配置した統一行動とともに労働者・名古屋市民の要求を実現する絶好の機会として、竹内平候補を先頭に名古屋市長選挙を革新市政の会・労働者選対の中軸として奮闘しました。



この1年間で 解決した争議

全国一般
ライオンコーヒー
全港湾名古屋支部
名海運輸分会
運輸一般
名鉄運輸支部
運輸一般
羽栗運輸分会
運輸一般
岩本運輸分会

94年度

1993.9 ~ 1994.8

大企業は、ボロもつけをはきだせ

ビクトリーマップ 愛知版で膨大な内部留保を告発

全労連東海北陸ブロック

年金キャラバン

国民のだれもが願つている「豊かな老後が送れる年金制度」をめざして、宣伝カーも「年金カー」に変身してアピール。県下約一五〇の連合傘下の労働組合や諸団体にも署名、学習会への参加をよびかけ。十二月十一日におこなった学習会には一四〇人の参加の内、約三〇人が申し入れをおこなつた労働組合から参加。



11/3 ストップ！小選挙区制 草の根の怒りを結集

小選挙区制阻止へ、地域連絡会も次々に一〇一地域に結成。数次にわたる全県一二〇ヶ所以上のターミナル、工場門前などの宣伝行動。年金大改悪反対、コメ輸入自由化NO！消費税アップ反対などいのち・くらしを守るたたかいと合わせて展開。強行されましたがあいが参院で否決するまでの運動をつくりあげてきました。



不況克服へ緊急対策を！と県へ要請

12/20

くらしと営業を守れ 愛商連・愛労連が 県へ不況克服の緊急要求

労働者・中小業者ら八三人が参加。不況の影響の早急な実態調査と公表、中小業者向けの「超低利の融資制度」を創設せよ、など一〇項目の緊急対策を要請。

2/16

中小企業・国民本位の 景気対策を！ 愛知総行動

大幅賃上げ・時短で不況打開を、と愛労連、愛商連、愛知争議団が共同行動。国民医療を守る県闘争委員会と共同開催した昼休み集会には一六〇〇人が参加。した昼休み集会には一六〇〇人が参加。

3/20 アクション愛知94 けつとばせ不況！

愛労連や愛商連などのよびかけによる「けつとばせ不況！守れ！」のちとくらしちゃクション愛知94は、会場の名城公園に労働者・業者・農民・医療・女性の各階層から一万人が参加。不況に追い打ちをかける公共料金の軒並み引き上げなど、いつそうの生活苦を押しつける細川内閣への怒りを集め、政治の流れを変えようと、決意を固めました。



94春闘 年金改悪反対！ 不況打開、雇用確保を

九四春闘では、大企業のボロもうけを告発するビクトリーマップ愛知版も発行。未組織労働者へも視野を広げて二月二十五日から二七日まで、はじめて実施した「労働相談一一〇番」には、一二三二件の相談があり、どれも不況を反映して切実な内容ばかりでした。

- ・統一行動は、県下主要ターミナルでの一〇万枚ビラで広くアピールするとともに二・一六愛知総行動を皮切りに、二・二五闘争宣言集会、三一トヨタ総行動をはじめ、年金



ストを構えた第三次・五次の統一行動まで二〇単産・約四万人が行動参加をしました。年金闘争では、地域労連での四〇万枚宣伝活動をはじめ、全体で一八〇万枚に及ぶ大量宣伝、共同の申し入れ、年金労組連絡会の結成など共同行動が前進しました。

世相

平成日安箱・平成コメ騒動・アナドル・バリアフリー商品・老いらく離婚・就職氷河期・同情するなら金をくれ・アダルトチルドレン・ゴーマニズム・いじめ自殺

この1年間で
解決した争議
運輸一般
扶桑クリーン分会
福祉保育労
かもめ保育園分会
建設一般
錢高組支部

95年度

1994.9 ~ 1995.8

許すな！国民大集会に怒りの十万人 消費税アップ・年金改悪・コメの輸入自由化

国際交流の旅

10.29～11.4

マレーシア・タイ調査団



タイでも高度成長の一方で
バラックがあちこちに

愛労連、愛商連、労問研が不況打開をめざす共同行動を積み重ねるなかで産業空洞化の実態について、受け入れ国（アジア地域）の状況を正確につかむと企画。労働組合・市民団体との交流、進出中小企業との懇談、生活・文化へのふれあいと充実した調査旅行となりました。

マレー・シアやタイを訪問した愛知の代表団は、現地の労働者たちと本当に心の通う交流をしてきたと思います。

四年後に、私はマレー・シアのシャヒールの組合を再び訪ねましたが、かれは、事務所に飾られた日本の友

これからも心の通う交流を

愛知労問研 大木一訓

人たちの写真を示しながら、懐かしそうに、「みなさん、どうしてますか」と聞いていました。

タイのブンチャレラムスギたちも、日本の友人たちとの再会を願っています。

この友情は、これからも大切にしていきたいものです。



11/16 愛知争議総行動
すべての争議を
なくそうと共同行動

第四二回を迎える衆総行動と共同でとりくみ。尾東地域の総行動には、確定闘争のなか瀬戸市職労から五〇人が参加。

11/13 許すな！消費税アップ
国民大集会に怒り結集

消費税・年金・コメの三課題を中心としたとりくみの推進へ、愛労連・愛商連

・新婦人・日本共産党で常駐体制の大運動臨時事務局」を設置。署名・宣伝・

議員要請行動をはじめ、村山内閣の即時退陣を求める11・13国民大集への参加（全体一〇万人、愛知一一〇〇人）や、消費税増税が強行された十一月一五日の緊急抗議集会などとりくんできました。

1/17 阪神・淡路大震災多くの若者がボランティア

全労連・兵庫県労連がとりくんだ震災後の労働相談活動に、全国の単産・地方労連からボランティアの相談員がかわるがわる参加。愛知からは、運輸一般（堀川侑男）、生協労連（若井和則）、愛労連事務局（伊藤むつを）が参加しました。



宣伝カーに貼りつけた大横断幕

東海北陸ブロック
5・13～15 愛知入り
解雇規制キャラバン

円高を口実にしたリストラ「合理化」によってつくりだされた深刻な失業・雇用不安に対して、国民的な運動と世論で大企業・政府の責任を追及する「解雇規制」の署名運動を大きく展開しました。

全労連青年部が結成から五年をかけて準備してきた、働く青年の交流祭典「マークー二バル95 in 浜松」は、愛知から二四八人が参加、全国から二五〇〇人の仲間が集まりました。
愛労連青年協では、開催の意義を積極的にうけとめ、愛知県実行委員会を四月より結成し、参加者の募集・地域実行委員会結成へのよびかけ・企画の準備などをおこなってきました。
また、当日の企画である大運動会の企画・運営を中央実行委員会より預かり、その成功へと貢献してきました。

夏は「サマカー」で
八月二一六日ア一八日 in 浜松
全国から二五〇〇人



被爆50周年にあたる節目の年。年金組合の西岡さんが通し行進者として東京から広島・長崎まで歩き通しました。また、例年の平和行進に加え、リレーでの反核マラソンもおこなわれました。

この1年間で解決した争議	
全港湾名古屋支部	運輸一般
渡辺除名撤回の会	南部地域支部
映産労名古屋分会 (倒産・新会社設立)	溝口運輸分会
運輸一般	運輸一般
東春運輸支部	中部生コン支部
福祉保育労	愛北生コン分会
港かもめ保育園分会	運輸一般
運輸一般アサノ分会	尾三地域支部
運輸一般	豊運輸分会
中部生コン支部	全国一般
平安分会	ゴシボ支部
	たちばな事件

世	相
ジャパンバッティング・不良債権・官官接待	・ライフライン・サティアン・ハルマグド
ン・ボア・ああいえば上祐・ベルトモ・ヤ	ンママ・ドクターK・抗菌グッズ

96年度

1995.9~1996.8

人間らしく働くルールの確立

介護保障の充実へ「総対話」運動

9/30

「総対話」運動はじまる 共同のよびかけ

三〇〇〇組合へ

「総対話、解雇規制・雇用確保、社会保障改悪阻止」の成功をめざす学習会（九月三十日）をスタートに総対話運動を推進。「介護保険・医療」「雇用・解雇問題」のビラ五〇万枚の配布や、九八組合から署名やアンケートが返送された「連合」、中立の約三〇〇〇組合への（解雇・社保の署名、春闘アンケート）郵送での共同の申し入れなどとりくみました。

婦人協や単産でも独自のとりくみ。年金者組合が組織拡大をあわせて団地での対話や、医労連の未組織の全病院訪問行動、運輸一般のサービスエリアでの「健康チェック」活動など創意をこらして対話をすすめてきました。

私たち、愛知県下に働く女性の願いを実現するために、愛労連婦人協議会を結成してきました。そして、この10年は女性労働者の権利、男女平等、平和、社会保障など息つく間もないたたかいの連続でした。

要求や組織の多数派に確信

元愛労連婦人協議長 駒田富枝

中でも96春闘での労働基準法改悪女子保護規定撤廃廃止のたたかいでは、女性の力も大いに發揮されました。三・八総行動（平日）では一四〇人の女性労働者が、連合傘下の労働組合や未組織職場などヘローラー・オルグ行動を開催、「要求や組織の多数派をめざす」ことに確信を深めることができたたたかいでした。

第三二期・労働者委員 地労委 またも「連合」独占

延べ七日間で五一九人の県庁前での座り込み、各団体・労組による連日の要請行動、六〇〇団体・三万人を超える知事への要請署名、県議会での追及などこれまでにない運動の広がりをつくりだしてきましたが、またも「連合」独占。この間、東京・沖縄・大阪・高知・和歌山で「連合」独占が是正されています。



11月～働く人の困り」とは… 常設で労働相談一一〇番

月初めに新聞などで紹介され、十一月一ヶ月で一二件の相談。「首切り、賃金不払い、労災など働く人の困り」とは…のポテッカーもつくり、労働相談一一〇番を知らせる活動もすすめました。

96春闘 基地も安保もいらない「住専」に税金使うな



一月十三日の新春大学習会で決意を固めあつた96春闘は、「住専」に税金を使はうな! 2・9抗議集会。70ヶ所の早朝宣伝、二二七人が参加した自治体・大企業・経営者団体など56ヶ所への要請行動、夜には、争議交流集会と多彩に展開した
2・16愛知総行動。2・18自動車デモ。
二五〇〇人が結集した3・20春闘総決起集会、トヨタ総行動。医労連・自治労連、JMIU、国公がスト・時間内集会・早朝宣伝を、地域も瑞穂、千種名東、中川などが昼夜デモ、決起集会を開催した3・22全国統一行動など官民一体で展開。

この1年間で解決した争議

- 運輸一般プラザー陸運
- 運輸一般東海サービス
- 運輸一般平安生コン
- 運輸一般
- 豊橋合同支部小野田
- 自治労連東栄町職
- 全国一般
- 御園サービス分会
- 郵産労東海地本
- 四日市北支部
- 過労死裁判
- 渡辺(問組・嘉戸工務店)

4/7

基地のない沖縄を! 県民集会に四〇〇〇人



琉球新報と沖縄タイムスに掲載した「沖縄のみなさんとともに米軍基地のない平和な日本をめざします」の新聞意見広告には四八〇団体・五八五六人が参加。また、富士山での米軍演習許すな七・七静岡県民集会には、愛知からも五八人が参加しました。

労働法制の全面改悪に反対し、解雇規制・雇用拡大のたたかいの推進へ、坂本修弁護士を講師に学習会。四月二四日には、介護保障制度の充実をめざす学習会もおこなつてあり、政府・財界・連合一体での労働者犠牲、国民犠牲の攻撃に反撃のたたかいをすすめてきました。

6/15 労働法制改悪許さず 人間らしく一働くルールの確立を

第10回日本高齢者大会
全国から延べ八〇〇〇人

九月一日～二日、愛知で開かれた第10回日本高齢者大会。初日のレインボーホールでの全体会議は五〇〇〇人が会場を埋めました。大会成功へは、年金者組合の多数の参加はもちろん、現役労働者が会場設営から、分科会運営、交通案内まで裏方で支えた役割が光りました。

世相

グローバル化・自分で自分をほめたい・
ストーカー・ルーズソックス・アムラー・
チヨベリバー・地味婚・援助交際・メーク
ドラマ・おやじ狩り・ビックバン

97年度

1996.9 ~ 1997.8

労働者・住民との共同広げ たたかいのなかに がんばる『地域労連』

12/8 高藏寺弾薬庫一周マラソン
平和へ向かつてダンシュ



「緑の街に弾薬庫はいらない」を突破口に、地元の民主団体や尾中労連はじめ労働組合のサポートで走り続けてきた高藏寺弾薬庫一周マラソンも十三回目に。全国から三五〇人余が参加する恒例の平和イベントとして定着しています。

11/16 社会保障の充実を
愛知社保協が宣伝・決起集会

「健保本人二割負担、薬代三割・五割負担なんてとんでもない」。消費税増税を許さず、医療保障の充実と介護保障の確立で安心して暮らせる街をつくるうと看護婦さんや、お医者さん一〇〇人が白衣で栄周辺で署名・宣伝行動。

1/28 人間らしく働くルールを
労働法制愛知連絡会を結成

「労働法制の改悪に反対し、人間らしく働くルールの確立を」めざして結成。愛労連の各組合をはじめ、新婦人、自由法曹団、春闘共闘、労研など参加。

2/27 九兆円もの負担増
全国統一行動に50万人が決起
国民に押しつけるな
消費税増税、医療改悪など国民負担の押しつけはもう許さんと、職場・地域でストや集会・デモ。橋本内閣の悪政に労働者・国民が怒りの連帯行動。民医連は五時間のロングラン宣伝で抗議。

3/11 みなと総行動
五隻の船で海上パレード

港地区労は地域春闘を追求、毎年春に港の特徴を生かした総行動を継続。早朝宣伝、港湾区域・団地での宣伝、争議関連企業・労基署等への要請行動など。一番の目玉は、海上パレードです。



みんなで要求、みんなで実現

第46回(11・20)、第47回(4・16)

栄総行動

栄総行動には、名中センターが中心的な役割を担うとともに各単産・争議団が参加。労働者や県民要求の実現へ終日の要請行動を展開。尾東総行動と相互乗り入れなど運動も拡大。名古屋市長選と重なった47回栄総行動は、事前のオルグ活動でも革新市政実現を位置づけました。



六月一八日～一九日

第七回地域労連研究集会

春闘決起集会や討論集会、労組訪問など多くの地域から元気なとりくみが報告され、「運動の主役としての地域労連」へ前進していることを実感させました。

この1年間で 解決した争議

運輸一般
名古屋レミコン
運輸一般 大石梱包
地域労組きずな
貯木アオイ分会
音楽家ユニオン
東宝エンタープライズ

7/27

おいでん「コンサート つくりまいか、平和なまち

「つくりまいか、平和なまち、豊かなくらし」をメインスローガンに豊橋市職員労働組合が地域の労働組合、民主団体などと実行委員会で開催してきた、「おいでんコンサート」。雨で海上移動や中止もあり、九年で十四回目を数え、地域に根付いたとりくみとなっています。



97年は雨で中止。写真は98年

反核ライダー 10年の歴史をきざんで

「平和のために大好きなバイクでアピール」と、八八年から始まつた反核ライダーは、九一年からは全労連青年部主催となり、愛知でも愛労連青年協の重要なとりくみとして年々発展しています。



世相

時のアセスメント・ガーデニング・透明な存在・失樂園する・じゃマール現象・クサンギ君・パバラッチ・パニック障害・飛び入学・護送船団方式・ハマの大魔人

98年度

1997.9 ~ 1998.8

秋闘～二・二六～春闘本番

「総対話・共同」で全地域が行動

一五一六労組を直接訪問・対話



全勤労争議団・家族との 第一回激励・交流ツアーリ

二三人が参加。JR北海道前での要請行動と、争議団（滝川班）家族との激励交流。怒つたり、笑つたり、感動したりの充実した旅。「工藤さん一人の全勤労争議団だつたが、あの人、この人の顔が浮かぶ厚みができた」と、みんなの感想。

- 10・23・5 北海道
11/12 職場に自由と民主主義を
中電人権裁判勝利和解
- 連帯と共に力、一二年をかけて、「思想差別は憲法違反」の判決を。職場に自由と民主主義を切り開く第一歩。
- 11/24 パートの元気のできる集会
- 「昨年の集会で元気もらつた。バスガイドの組織に頑張ってる」運輸一般の石村さんの話は、みんなを感動させ、激励。パート集会へ、期待の声もいっぱい!



2/26 職場・地域を軸に
一万五千人が行動した
愛知総行動

全国津々浦々で四四万人、メーデーを上回る画期的な総行動に。愛知でも、県下三・四駅での早朝宣伝、二二地域での決起集会・提灯デモ、千人を超える年休部隊が自治体・商工会議所・大企業・国・の出先機関など一一ヶ所へ要請、昼休み集会・座り込み、商店街「桃太郎」、自動車パレード、海上デモ、一斉労組訪問と、すべての地域が大奮闘。多くの単産での「地域結集」の徹底など、単産と地域一体の行動となり、「職場にも地域にもたたかうエネルギーはある」「役員も参加者も元気をもらつた行動」に。



くらし・職場を変えよう

3 / 8 東京・代々木公園に
全国から十一万人



会場は人、人、人で溢れかえった。みんなの思いは同じ。九八国民春闘勝利三・八中央総決起集会は、政府と大企業の労働者・国民犠牲の政治に「もう黙つとれん」の怒りが結集。愛知からも2・26の熱気を継続・発展させようと職場ではカンパもとりくまれ、自治労連の五六一人がはじめ九一八人が参加しました。

翌三月九日は、各単産・地方、五千人が対政府交渉など三三行動を展開。国会・霞ヶ閣を大きく包囲しました。

5 / 20 不況打開、くらし守れ 橋本内閣へ怒りのFax



次々と寄せられる「怒りのFax」

日銀や銀行協会、東海財務局への要請行動を展開し、マスコミにも大きく報道された四・一七行動に続いて、国民大運動などとの共同を重視、「悪政阻止、不況打開・くらしを守る5・20總行動」として、早朝宣伝や集会・デモや、橋本内閣への怒りのFax行動などで、消費税減税、国民本位の不況打開をアピール。

**6 / 17 県・通産局へ
雇用確保で緊急要請**

連続して失業率が4%を超えたことなど重視。雇用の確保、中小経営の安定と働くものの仕事や権利の擁護を要請。

世相
冷めたピザ・ボキヤ貧
の戦い 不適切な関係・風水ツアード
力・ビビビツ・学級崩壊・毒物連鎖・絶対
音感・チョコ語訳・だつちゅうのお宝

この1年間で解決した争議

J M I U愛知支部
アクロス分会
運輸一般 佐藤運輸
運輸一般 名窯運輸
運輸一般
ツルガ清洲分会
運輸一般 豊運輸
運輸一般
豊菱生コン
運輸一般
中部生コン支部

全国一般あいち支部
日本アクリル分会
全国一般あいち支部
御園サービス分会
全港湾名古屋支部
由良海運分会
中部電力
人権侵害思想差別
撤廃争議団

東海法労 三〇人
(東海地域法律関連労働組合)
愛労連第十七回定期大会・第一回
評議員会で承認。

くらし・雇用、権利守るたたかいに

99年度

1998.9~1999.8

幅広い「共同」の前進

不況打開・くらしと雇用守る
十二月五日・六日 春闘討論集会
壮大な国民春闘を

11/6 くらし・雇用を守る 愛知総行動

春の一・二・六愛知総行動に続いて、全労連が秋闘の一・二・六、九九春闘の一・二・五の総行動を提起。「消費税をせめて3%に、医療・年金の改悪反対、銀行への六〇兆円やめて、くらしにまわせ、小渕内閣は国民の声を聞け、不況打開、くらし・雇用・福祉を守れ」ととりくんだ十一・六総行動は、二・五地域労連が早朝宣伝、行政機関への要請、署名宣伝、夜の集会など終日行動（秋闘では初の全県総行動）を展開。県では愛知県や、通産局、銀行など十一ヶ所に緊急雇用対策や貸し渋りなどの改善を求める要請を。また、同時に栄小公園では年金者組合を中心とした座り込みや、小渕内閣に対する怒りのFaxもおこないました。



写真は、6・21補助金カット反対1日行動

1/22

住民投票運動で 藤前干潟埋め立て断念

「藤前干潟の埋め立てをやめ、全面保存すること」の是非を問う住民投票条例制定請求署名を一月二二日本請求。署名数は一〇二・五九八筆でした。
「二五日夜から二六日にかけてマスコミはいつせいに「藤前干潟埋め立て断念」をトップニュースで全国に伝えました。

1/9 99年新春大学習会 知事選勝利へ決起!

恒例となつた愛労連の新春大学習会。二宮厚美（神戸大）さんと大木一訓（労研）さんを講師に、地域からの春闘、世界と日本の経済をどう見るか、など学習。あわせて、目前に迫つた知事選挙勝利をめざす決起集会もおこないました。

討論集会には、一七〇人が参加。特別報告で中小企業家同友会の斎藤さんは、「大企業の横暴のもとでは、企業内努力はどうにもならない問題がある。要求の一一致点で労働者と経営者が共同してたかうことが大切」と強調しました。

新しい組合が愛労連加入
通信労組 十一人
(通信産業労働組合愛知支部)
一九九八年十二月五日再結成
愛労連第二〇回定期大会で承認。

99春闘

打つてでてアピール

目に見える行動

一・二五愛知総行動

九九春闘は、朝日新聞が「逆風の中で春闘本格化」と報道した二・二五愛知総行動をはじめ、賃上げ闘争、不況に便乗した労働条件の切り下げを許さないたかい、西三河ブロック(七ヶ所)での労働相談一一〇番、大企業本位の「規制緩和」に反対する労使共同行動、消費税減税を求める合同宣伝など展開。また、知事選の争点となつた県の補助金カット・福祉切り捨て反対の共同行動もすすめました。

県知事選挙 二・七 影山健候補が八〇万票

「財政危機のもとでの万博・空港は、見直し・中止を」「福祉・教育の充実を」「県政転換の流れ大きく」の訴えに共感。

4 / 28 陸海空の関連19労組
ガイドライン反対をアピール
「立場の違いを越えて行動する」と上部団体の違いをこえた共同を、中央に続

き愛知でも。また、公立病院・医療関係（自治労連愛知・病院部会・医労連、県職、名市大など）の共同アピール。
五月二一日に、ガイドラインに反対す

る人、みんな集まれ、と東京・明治公園で開かれた「ストップ戦争法！全国大集会」には五万人が結集。愛知から六〇〇人（愛労連）100人）が参加しました。



5 / 12 第三〇期地労委裁判 「実質勝利」の判決

地労委民主化会議が十年のたたかいでかちとつた判決は、連合独占の問題点を明確に指摘し、今後の委員選任に向けて「労働運動の潮流・系統」を考慮した多様な選任と、「任命基準の作成・公表」を求め、「より多くの労組・労働者に支持される合理的な選任」がなされるよう異例の注文をつけて、全国・各県でたかう仲間を大きく励ました。

愛労連や障害者三団体・社保協など、これまで運動してきた団体が共同行動実行委員会をつくり、「補助金カットの中止を求める6・21一日行動」をとりくみ、労働者・障害者を中心に一一〇人が参加、座り込みやデモ、県庁要請行動、波状的な知事要請など繰り広げました。

補助金カット許さぬ 共同行動に一〇〇〇人 充実こそ県民の願い

世相
自公・サツチイ・ミツチイ戦争
ガイドライン・JCIO・商工ローン・二〇〇〇年問題・国境なき医師団・厚底ブーツ・メル友・低温関係・ブチ家出・介護保険

この1年間で
解決した争議

- 医労連
- 愛治病院労働組合
- 運輸一般 豊栄支部
- 運輸一般 溝口運輸
- 運輸一般 日通岐阜運輸
- 地域労組きずな
- 東洋学園分会
- 銀産労愛知県支部
(中京セキュリティー)
- 豊橋農業協同組合労組
- 過労死裁判
- 1)柏木・基金支部
- 2)森下・美濃かしわ

愛労連10年の歩み（1989.11～1999.8）

この年表は、自治労連・自治労連共済10周年記念誌年表(一部転載)、愛労連活動日誌などをもとに整理作成したものです。

1989.11～1990.8

政治・経済	労働運動	愛労連
<p><1989></p> <p>11.6 新行革審の「公的規制のあり方に関する小委員会」が内外格差の縮小などを提言</p> <p>12.14 野党提案の消費税廃止関連9法案が審議未了、廃案</p> <p>12.21 厚生・自治・大蔵3大臣「ゴールドプラン」で合意(高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略)</p> <p><1990年></p> <p>1.1 「日本労働研究機構」発足</p> <p>1.17 日経連が労働問題研究委員会報告発表、賃上げは5%未満と主張</p> <p>1.18 本島長崎市長、市役所前で右翼団体員に狙撃される</p> <p>2.18 第39回総選挙、自民党が275議席で安定多数、社会党は136議席</p> <p>2.22～23 日米構造協議でアメリカが日本の公共投資をGNPの10%に拡大するよう迫り、6.28に430兆円で合意</p> <p>3.2 海部首相が国会の施政方針演説で「政治改革に不退転の決意」表明</p> <p>3.22 東京の金融・資本市場で円、株式、債券が全面安に、バブル経済が崩壊</p> <p>4.3～5 社会党第55回大会、「社会主義を選択する」規約前文を改定、連合政権下の安保・自衛隊存続を決定</p> <p>4.18 新行革審が地方行政の広域化、規制緩和、土地対策など最終答申</p> <p>4.26 第8次選挙制度審議会、小選挙区比例代表並立制を答申</p> <p>6.4～5 カンボジア和平のための東京会議開催</p> <p>7.31 第8次選挙制度審議会が参院選挙区の定数是正、政党への公的助成などを提言</p> <p>8.5 政府が石油輸入禁止、経済協力凍結などイラクのクウェート侵攻に対する経済制裁を決定</p> <p>8.30 政府がイラク制裁の多国籍軍支援などに10億ドル支出</p>	<p><1989></p> <p>11.13 「公務・公共業務労働組合共闘会議結成</p> <p>11.20 統一労組懇解散</p> <p>11.21 全国労働組合総連合(全労連)結成、27単産・41地方組織・140万人が結集</p> <p>11.21 総評が第82回解散大会</p> <p>11.21 「連合」発足、「進路と役割」を「連合の進路」に改め、規約改正で「制裁・統制」の章を新設</p> <p><1990年></p> <p>1.16 全労連、純中立懇と90春闘懇有志単産などの90国民春闘共闘委員会結成</p> <p>1.30 特殊法人労連結成「連合」加盟に反対する旧政労協の7組合、6000人が結集</p> <p>2.20 全労連系の運輸一般、自交総連、全運輸など7単産、12万人が交運共闘を結成</p> <p>3.31 国鉄清算事業団が3年間の期限切れで職員1047人に解雇通告</p> <p>4.5 春闘要求で私鉄総連が9年ぶり、全電通が12年ぶりにスト突入</p> <p>4.10 東京地評第43回臨時大会でたたかう労戦統一・政党支持の自由を決定</p> <p>4.12 「連合」の山岸章会長が海部首相と会談</p> <p>4.19 全労連が春闘要求で統一スト</p> <p>4.25 全労連臨時大会を開き、国鉄清算事業団の1047人解雇にたたかう方針確立</p> <p>5.1 第61回メーデーが史上初めて全都道府県で分裂、中央集会は連合系20万人、全労連系15万人、全労協系5万人</p> <p>5.24 日本医労連が看護婦の大幅増員を求め、ナースウエーブ大集会</p> <p>6.29 国労・国鉄闘争支援中央共闘会議が解雇撤回と不当労働行為糾弾中央総決起集会</p> <p>7.30～8.1 全労連第3回定期大会、大江洋議長が就任</p>	<p><1989></p> <p>11.17 愛労連結成大会、記念レセプション</p> <p>11.22 千種・名東労連結成</p> <p>11.24 愛知統一労組懇解散総会</p> <p>11.27 愛労評解散、翌28日連合愛知発足</p> <p>11.28 中村地域労連結成総会</p> <p>12.9 愛労連と大企業職場・労働者との懇談会</p> <p>12.18 青年組織結成をめざす懇談会</p> <p><1990年></p> <p>1.20～21 愛労連「春闘討論集会」</p> <p>2.2 愛労連第2回臨時大会</p> <p>2.3 総選挙告示、18日投票</p> <p>2.25 第30期地方労委・提訴国労・全勤労スト支援集会</p> <p>3.4 トヨタシンポジウム</p> <p>3.10 「愛労済」設立総会</p> <p>3.17 海部・津島地域労連結成大会</p> <p>3.21 トヨタ総行動</p> <p>3.25 「90春闘総決起集会」久屋市民広場</p> <p>3.30 国鉄精算事業団2090名の首切りを許さない愛知県民総決起集会</p> <p>4.3 名古屋北地域センター結成総会</p> <p>4.7 愛労連・婦人協議会結成総会</p> <p>4.11 緑地域センター結成総会</p> <p>4.27 メーデー前夜祭</p> <p>5.1 第61回メーデー・白川公園</p> <p>5.3～5 愛知と三宅を結ぶ船の旅(NLP反対闘争交流会)</p> <p>5.10 瑞穂区労連結成大会</p> <p>6.12 裁判所包囲行動</p> <p>6.14 天白地域センター結成総会</p> <p>6.16～17 地域センター研究集会</p> <p>6.27 「あいち地労委の民主化を求める連絡会議」結成総会</p> <p>6.30 愛労連青年協議会結成総会</p> <p>7.6 公務員「一時金役職別傾斜支給」反対集会</p> <p>8.2～3 平和の波・灯籠流しと平和盆踊り、県下一斎宣伝行動</p> <p>8.10 国際交流愛知婦人の集い</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>9.14 政府が中東支援として、さらに30億ドルの追加支出を決定</p> <p>10.16 政府が国会に自衛隊の海外派遣をふくむ国連平和協力法案を提出</p> <p>10.31 臨時行政改革推進審議会(第3次行革審)が初会合、会長に鈴木永二日経連会長を選出</p> <p>11.17 長崎・雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火</p> <p>12.20 政府が22兆7500億円の中期防衛力整備計画決定(91~95年)</p> <p>12.25 自民党が小選挙区比例代表並立制導入などの政治改革基本要綱を決定</p> <p><1991年></p> <p>1.17 海部首相が多国籍軍のイラク攻撃への「確固たる支持」を表明</p> <p>1.18 共産党、全労連など湾岸戦争と日本政府の加担に反対する緊急集会</p> <p>1.24 政府が中東の多国籍軍への90億ドル追加支援と自衛隊機の中東派遣を決定</p> <p>1.29 「コメの輸入自由化をやめ、豊かな学校給食を求める国民署名推進協議会」が発足総会</p> <p>4.7/21 第12回統一地方選挙</p> <p>4.8 小沢一郎自民党幹事長が都知事選での磯村候補敗北の責任をとり辞任、小渕恵三が後任に</p> <p>4.24 政府がペルシャ湾岸への掃海艇派遣を決定</p> <p>5.8 育児休業法成立</p> <p>6.3 長崎・雲仙普賢岳大火碎流で37人死亡</p> <p>6.12 第3次行革審「農政の抜本改革、NTT分割など」提言</p> <p>6.21 第3次行革審が、「国と地方の関係を見直すよう」提言</p> <p>6.24 第3次行革審が、「PKOへの自衛隊活用など」を提言</p> <p>7.4 第3次行革審が、「国際化対応・国民生活重視の行政改革に関する1次答申」</p> <p>7.30~31 社会党臨時大会、田辺誠委員長の執行部を選出</p>	<p>9.13~15 鉄鋼労連第81回定期大会、機関紙の廃止を打ち出す</p> <p>9.20 連合政治委員会が衆院での小選挙区比例代表併用案導入を提唱</p> <p>10.10 連合三役会議「国連平和協力隊的なものは必要」と見解発表</p> <p>10.17 91春闘懇談会が28単産、50万人で発足</p> <p>11.9 日本医労連が看護婦の大幅増員要求で21年ぶりに全国統一スト</p> <p>11.26 全労連、純中立など91国民春闘共闘委員会を結成</p> <p><1991年></p> <p>1.24 連合が湾岸戦争で多国籍軍の対イラク武力行使は国連決議をふまえたものと支持を表明</p> <p>1.29~30 全労連臨時大会、賃上げ3万5000円以上で2波の統一スト、湾岸戦争反対の春闘方針決定</p> <p>3.6 全教と日高教が組織統一</p> <p>3.20 国労、労働委員会命令の完全履行を要求して中央総決起集会</p> <p>4.4 日本医労連が看護婦増員要求などで全国588ヶ所で6万人のスト</p> <p>5.16 連合加盟組合有志による「新しい政治を考える労組懇談会」発足</p> <p>5.25~26 全労連などのはたらく婦人の中央集会聞く</p> <p>7.2~4 日教組第73回大会、臨時教育審議会に反対する修正案を小差で否決</p> <p>7.4 国民春闘共闘委が大幅賃上げ、労働時間短縮とコメ輸入自由化阻止で中央総決起集会</p> <p>7.30~8.1 全労連第5回定期大会で「すべての労働者を視野に入れた要求と運動を重視する」方針決定、議長に大江氏選出する</p>	<p>9.14 岡崎・額田地域労連結成大会</p> <p>9.22 人間らしく生き働くための愛知県民集会</p> <p>豊田・加茂地域労連結成</p> <p>9.30 愛労連第3回定期大会</p> <p>10.3 東海銀行支援共闘結成総会</p> <p>10.9 イタリア労働総同盟代表団との交流・懇談会</p> <p>10.24 昭和地域センター結成大会</p> <p>10.27 第1回あいち食糧メーデー(ガーデン埠頭)</p> <p>10.30 自衛隊の海外派兵反対・緊急集会</p> <p>11.5 小選挙区制・政党法反対愛知フォーラム結成</p> <p>11.11 国民大集会(代々木公園)</p> <p>12.1~2 「91国民春闘」討論集会</p> <p><1991年></p> <p>1.12 刈谷・安城・知立地域センター結成大会</p> <p>1.22 「愛知県知事選挙勝利」労働者総決起集会</p> <p>2.3 愛知県知事選挙投票(堀一候補健闘する)</p> <p>2.9 愛労連第4回臨時大会</p> <p>2.11 小牧基地包囲行動</p> <p>2.21 愛知「91国民春闘共闘委員会」結成総会</p> <p>2.24 トヨタ・シンポジウム</p> <p>2.25 山下争議全面解決・報告集会</p> <p>2.27 愛労連総行動デー</p> <p>3.21 第11回トヨタ総行動</p> <p>3.28 春闘総決起集会(久屋広場)</p> <p>4.11 第35回栄総行動</p> <p>4.26 愛労連「名古屋地連」結成総会</p> <p>5.1 第62回メーデー(白川公園に15,000名)</p> <p>6.22 愛知社保協・再開総会</p> <p>6.24 「6・24」愛知県民集会</p> <p>7.2 地労委の民主化を求める大学習会</p> <p>7.7 愛知「いのちと健康を守るセンター」設立総会</p> <p>7.26 「雲仙災害救援」街頭宣伝・カンパ活動</p> <p>8.10 あいち国際交流婦人集会</p> <p>8.31 小選挙区制に反対する女性の討論集会とデモ</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>9.13 第3次行革審が、「証券・金融不祥事再発防止策」を答申</p> <p>9.19 政府、PKO法案を国会に提出</p> <p>9.27 患者の一部負担金の引き上げ、訪問看護制度などもりこんだ「改正老人保健法」が成立</p> <p>9.30 政治改革関連3法案が廃案</p> <p>10.29 海部総裁の再出馬辞退で自民党新総裁に宮沢喜一を選出</p> <p>11.5 宮沢内閣発足</p> <p>12.3 衆院本会議でPKO法案が可決、継続審議</p> <p>12.6 宮沢首相がリクルート疑惑の焦点となった関係資料3点セットを国会に提出</p> <p>12.9 自民党宮沢派の阿部文男事務総長の鉄骨加工会社、共和裏献金発覚</p> <p>12.12 第3次行革審「ODA大綱の策定、外国人労働者実習制度創設」等の第2次答申</p> <p><1992年></p> <p>1.13 東京地検、共和汚職事件で阿部文男元北海道沖縄開発庁長官逮捕</p> <p>1.31 「反安保全国実行委員会」解散</p> <p>2.14 東京地検、東京佐川急便事件で渡辺広康前社長ら4人逮捕</p> <p>2.20 自民党小沢調査会が自衛隊の国連軍参加可能とする答申案作成</p> <p>3.17 介護休暇制度導入が電機労使で合意</p> <p>4.1 育児休業法施行</p> <p>4.20 「民間政治監視」結成、会長に亀井正夫日経連特別顧問</p> <p>5.7 「日本新党」結成</p> <p>5.12 経団連が「持続的な安定成長と労働力の確保を目指して」を発表</p> <p>5.12~13 「国立病院・療養所を守り、地域医療良くする全国連絡会」結成</p> <p>6.5~9 参院本会議、PKO法案採択で日本共産党、社会党など「牛歩」などで徹底抗戦</p> <p>6.15 衆院本会議でPKO法可決、日本共産党「牛歩戦術」を行ふ</p> <p>6.19 時短促進法、看護婦人材確保法成立</p> <p>6.25 経済審議会「生活大国5ヶ年計画」答申</p> <p>7.26 第16回参院選挙自民復調、社会不振、連合惨敗、投票率史上最低</p>	<p>9.29 全労連などの国鉄闘争とすべての争議勝利をめざす1万人のフェス夕開く</p> <p>11.10 国労などの国鉄労働者1047人の解雇撤回をめざす3万8000人の団結まつり</p> <p>11.21 全労連、純中立懇などの92国民春闘共同委員会結成</p> <p>11.21 「連合」第2回大会で「二大政党的体制の実現」などの方針決定</p> <p>11.26~27 全労連が国際シンポジウム「日本の労使関係と労働組合の権利」を開き、7ヶ国が参加</p> <p><1992年></p> <p>1.30~31 全労連第6回臨時大会で人間回復署名運動など92国民春闘方針決定</p> <p>2.21 公務共闘第6回臨時総会で、36,000円賃上げなど92春闘方針決定</p> <p>4.13 山岸連合会長ら宮沢首相と人勧の早期実施で会談</p> <p>5.1 第63回メーデー、全労連85,000人、連合はパレードに20万人</p> <p>5.15 連合三役、自衛隊と安保容認などの態度を確認</p> <p>6.12 国労、中労委1047人解雇問題の最終解決案の受諾拒否</p> <p>7.29~31 全労連第7回定期大会で「全労働者を視野に入れた政策提起と共同の追求」などの基本方針と「労基法改悪阻止」「自衛隊の海外派兵阻止、PKO協力法発効阻止」などの特別決議を採択</p>	<p>9.1 働くものの囲碁・将棋大会(85名)</p> <p>9.4 第1回愛労連労働学校(9月に4回開催、延べ194名)</p> <p>9.18 小選挙区制に反対する9・18愛知県民集会</p> <p>9.28~29 愛労連第5回定期大会</p> <p>10.19 第2回あいち食糧メーデー(南北公園に2000名)</p> <p>10.22 ナトコ争議全面勝利解決</p> <p>10.23 知多地域労連結成大会</p> <p>10.29~11.8 地労委県庁前座り込み決行</p> <p>11.10 スクラムフェスタ91</p> <p>12.6 尾東労連結成総会</p> <p>12.7~8 愛労連「92国民春闘」討論集会</p> <p>12.11 全勤労を勝たせる会結成総会</p> <p>12.17 あいち92春闘共同委員会結成総会</p> <p>12.21 東海銀行争議勝利報告集会</p> <p><1992年></p> <p>1.18 人間らしく生き働くための愛知集会</p> <p>2.8 愛労連第6回臨時大会</p> <p>2.11 愛労連地域労連交流集会</p> <p>2.19 「92国民春闘・国鉄闘争勝利」2・19決起集会</p> <p>2.22 愛労連婦人協「春闘討論集会」</p> <p>3.19 愛知春闘懇總決起集会</p> <p>3.20 トヨタ総行動(1100名)</p> <p>3.22 「国民春闘勝利・国民要求実現」愛知決起集会</p> <p>3.25 自治労連・国民春闘勝利で時限スト</p> <p>3.29 愛労連交運部会・春闘勝利でトラック大パレード</p> <p>4.1 国鉄闘争・解雇撤回をめざす座り込み行動</p> <p>4.25 教科書裁判勝利をめざす全国大行進・愛知行進</p> <p>5.1 第63回愛知県中央メーデー(白川公園)</p> <p>5.12 PKO法案阻止、愛知県民集会(久屋市民広場)</p> <p>6.13~14 愛労連地域労連研究集会</p> <p>6.16 自公民PKO法強行採決・抗議の宣伝行動</p> <p>7.2 大須事件40周年の集い</p> <p>7.26 参議院選挙・投票日</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>10.8 東京都の暴騒音条例成立 (01・19施行)</p> <p>10.21 金丸自民党前副総裁、東京佐川急便より5億円受け取り、罰金刑で議員辞職</p> <p><1993年></p> <p>2.23 日産座間工場の閉鎖を発表</p> <p>3.6 東京地検、金丸前自民党副総裁を脱税容疑で逮捕</p> <p>4.15~18 宮沢首相とクリントン米大統領との初会談</p> <p>5.10 自民党小沢一郎が「日本改造計画」を発表</p> <p>6.2 労働基準法改正・時短促進臨時措置法成立</p> <p>6.11 パートタイム労働法成立 (12・1施行)</p> <p>6.18 6野党・会派提出の宮沢内閣不信任案が可決、衆院解散</p> <p>6.21 「新党さきがけ」結成</p> <p>6.23 「新生党」結成</p> <p>6.29 石井仙台市長ら公共工事贈収賄で逮捕</p> <p>7.18 第40回総選挙、自民党過半数割れ(新党ブーム)投票率史上最低</p> <p>7.23 竹内藤男茨城県知事がゼネコン汚職で逮捕</p> <p>8.5 第127特別国会で土井元社会党委員長が初の衆院女性議長に選出</p> <p>8.9 細川内閣誕生、旧野党6党首が入閣</p>	<p>10.25~26 全労連、大企業労働者交流集会を開催</p> <p>11.12 「93国民春闘共闘委員会」発足総会</p> <p>11.20 大田沖縄県知事、全国で初めて全労連系の地労委委員を選任</p> <p>12.10 全労連が「93年春闘ピクトリーマップ」を発表</p> <p><1993年></p> <p>1.12 「連合」第11回中央委で2万円以上の春季生活闘争方針決定</p> <p>1.13 全労連、日経連と労問研報告をめぐり非公式の初討論</p> <p>1.21~22 全労連第8回臨時大会で、3万5000円以上の賃上げ要求の93国民春闘方針を決定</p> <p>2.5 「連合」会長ら初めて自民党4役と会談</p> <p>2.13 東京労連結成、自治労連都職労など約25万人</p> <p>3.1 全労連の17単産で「民間部会」を結成</p> <p>3.31 「総評センター」解散</p> <p>4.7 「自治労」県本部委員長会議で「最小限防衛力」を容認し、自衛隊に関する方針転換</p> <p>5.18~19 「連合」三役会議で「国の基本政策に関する連合の態度」を決定</p> <p>6.30 労働省発表で労働組合組織率24.2%、前年比で0.2%低下</p> <p>7.29 「連合」、「細川内閣を大いに期待し、歓迎」との声明発表</p> <p>8.3~5 全労連第9回定期大会で年金闘争強化などの方針決定</p>	<p>9.5~6 愛労連第7回定期大会</p> <p>9.12~15 国鉄闘争支援「ローカル線視察北海道の旅」(第1回全勤労争議団激励ツアー)</p> <p>9.15 第2回働く者の囲碁将棋大会</p> <p>10.10 自衛隊の海外派兵反対・監視と抗議行動(名古屋空港)</p> <p>10.18 国鉄フェスタin愛知</p> <p>10.30 佐川事件徹底究明・金権腐敗政治根絶愛知県民集会(白川公園)</p> <p>11.19 昭和地域労連結成大会</p> <p>11.21~23 日本平和大会・愛知大会</p> <p>11.23 依佐美基地包囲「人間の鎖行動」(5000人)</p> <p>12.10 革新市政の会・市民大集会(市公会堂)</p> <p>12.13~14 愛労連春闘討論集会</p> <p>12.17 93春闘共闘発足総会</p> <p><1993年></p> <p>1.22 名古屋市長選勝利・市民決起集会</p> <p>1.24 「93国民春闘勝利をめざす」大学習会</p> <p>2.12 「不況打開、93国民春闘、争議勝利をめざす」愛知総行動</p> <p>2.13 愛労連第8回臨時大会</p> <p>2.21 トヨタシンポ</p> <p>2.27~28 青年協「活動交流集会」</p> <p>3.13 トヨタ総行動、</p> <p>3.20 「93国民春闘・市長選勝利」総決起集会(久屋市民広場)</p> <p>4.14 「春闘・市長選勝利をめざす」労働者集会</p> <p>4.25 名古屋市長選挙・投票日(竹内平氏大健闘)</p> <p>5.1 第64回愛知中央メーデー(白川公園)</p> <p>5.3 「憲法施工46周年記念」市民の集い(勤労会館)</p> <p>5.19 「中電人権争議勝利」総決起集会</p> <p>5.26 小選挙区制反対県下一斉宣伝行動と県民集会</p> <p>6.1 拡声器規制条例反対「学習・決起」集会</p> <p>6.2~13 93国民平和大行進県内行進</p> <p>8.20 愛労連青年協・北海道西南沖地震「街頭募金」活動</p> <p>8.24~26 「全教大会」愛知で開催・右翼対策で愛労連の仲間が応援</p>
		- 39 -

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>9.27 本間俊太郎宮城県知事がゼネコン汚職で逮捕</p> <p>10.12 年金審議会が「94年年金改定に向けての意見書」提出</p> <p>11.5 行政手続法が成立(94.10.1施行)</p> <p>11.12 環境基本法が成立(11.19公布・施行)</p> <p>12.2 中西啓介防衛庁長官「憲法見直し発言」で辞任</p> <p>12.3 「障害者基本法」公布、施行</p> <p>12.14 臨時閣議で「コメの部分開放受け入れ」を決定</p> <p>12.22 雇用審議会「60歳定年制義務化」の答申提出</p> <p><1994年></p> <p>1.12 参院政治改革特別委員長の不信任案を史上初の可決</p> <p>1.21 参院本会議、政治改革関連4法案否決</p> <p>1.21 「行政改革推進本部」設置</p> <p>3.4 改正政治改革関連4法案成立</p> <p>3.29 子どもの権利条約批准承認(5.22発効)</p> <p>4.1 週40時間労働制開始</p> <p>4.1 「社会経済生産性本部」発足</p> <p>4.8 細川首相、政治資金不正運用で辞意表明</p> <p>4.26 社会党、連立政権から離脱</p> <p>4.28 羽田内閣発足</p> <p>5.22 社会民主連合解散</p> <p>6.7~8 民社党大会</p> <p>6.21 円、1ドル100円突破</p> <p>6.23 健康保険法改正成立</p> <p>6.27 松本市でサリン中毒により7人が死亡</p> <p>6.29 村山富市自・社・さきがけ連立内閣成立</p> <p>7.18 桶川市で生活保護世帯クーラー禁止事件</p> <p>7.28 社会党、自衛隊合憲、安保堅持、日の丸、君が代を国旗・国歌と認識などの政策転換</p>	<p>10.7 「連合」第3回定期大会、細川首相が初めて出席</p> <p>11.18 「連合」第14回中央委で、賃上げ要求目標は産別自決を決定</p> <p>12.24 中労委が旧国鉄の北海道、大阪の採用差別事件に救済命令</p> <p><1994年></p> <p>1.9~18 ILOマイヤー事務局次長来日、消防職員の団結権で関係者の意見聴取</p> <p>1.12~13 全労連第10回臨時大会で94春闘方針決定</p> <p>1.26 友愛会議第8回総会で組織を解散し、「友愛会」を創設</p> <p>2.17 「連合」中央執行委員会で消防職員の団結権保障のための地方公務員法改正方針を決定</p> <p>4.11 友愛会三役、羽田政権支持を表明</p> <p>4.20 国民春闘共闘委員会が年金改悪反対で全国統一行動</p> <p>5.23 千葉地裁、東京電力賃金差別事件で1億600万円の支払い命令</p> <p>6.16 「連合」社会・民社との首脳協議、定期協議機関の設置</p> <p>6.29~7.1 全労連、アジア・太平洋労働組合シンポジウム開催</p> <p>6.30 「連合」中執会議で村山政権に是々非々で臨むことを確認</p> <p>7.29~31 全労連第11回定期大会でナショナル・ミニマムの確立めざす方針決定、三上満議長を選出</p>	<p>9.5 愛労連第9回定期大会</p> <p>9.14~17 社保協・自治体キャラバン</p> <p>9.30 「小選挙区制に反対する女性の会」発足会</p> <p>10.17 第4回食糧メーデー</p> <p>10.21 小選挙区制・政党助成反対・安保破棄10.21県民集会</p> <p>10.27~29 地労委早期解決・県庁前座り込み行動</p> <p>11.2~4 地労委早期解決・県庁前座り込み行動</p> <p>11.17 第40回栄総行動</p> <p>11.18 団体生命保険のあり方を考える集い</p> <p>12.4~5 愛労連春闘討論集会/ピクトリーマップ愛知版を発表。</p> <p>12.17 愛知春闘共闘結成総会</p> <p><1994年></p> <p>1.16 愛労連94国民春闘幹部学習会</p> <p>1.21 青年協NEW YEAR'S PARTY</p> <p>1.30 愛労連第10回臨時大会</p> <p>2.5~6 春闘「青年學習・交流」集会</p> <p>2.16 国立病院2・16昼休み集会</p> <p>2.24~27 青年スキーフェス</p> <p>2.25 春闘闘争宣言集会(久屋市民広場)</p> <p>2.25~27 働く仲間の「労働相談110番」132件の相談・地元中日新聞でも大きく報道</p> <p>2.28~3.4 県下88自治体コメ・キャラバン</p> <p>3.2 渡辺裁判・判決(名古屋高裁)</p> <p>3.12 第14回トヨタ総行動・早朝宣伝150人、決起集会に700人</p> <p>3.17 春闘勝利・港地区総行動、海上デモ6隻100人</p> <p>3.20 アクション愛知94、名城公園に労働者・業者・婦人、1万人集う</p> <p>4.20 春闘第5次統一行動・年金決起集会(久屋市民広場)</p> <p>4.30 愛知県中央メーデー・青年前夜祭(白川公園)</p> <p>5.1 第65回愛知県中央メーデー</p> <p>6.12 「ストップ年金改悪」愛知県集会(前津公園)</p> <p>6.25~26 愛労連地域労連研究集会</p> <p>7.23 第2回国鉄フエスタin愛知(久屋市民広場)8000人</p> <p>8.19 京都職対連「トヨタ工場見学」</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>9.4 関西国際空港が24時間港として開港</p> <p>9.13 閣議で自衛隊ザイール派遣を決定</p> <p>11.2 改正年金法成立</p> <p>11.3 読売新聞、改憲試案発表</p> <p>11.17 神奈川県逗子市の池子米軍住宅建設問題で国・県・市の和解成立</p> <p>11.21 小選挙区割り法など政治改革関連3法成立</p> <p>11.25 税制改革関連法成立(消費税97年4月より5%へ)</p> <p>12.5 公明臨時大会で公明新党と公明の分離決定</p> <p>12.8 WTO設立関連法成立</p> <p>12.9 被爆者援護法が成立</p> <p>12.9 民社党臨時大会で解散と新進党参加決定</p> <p>12.10 新進党結成大会初代党首に海部元首相</p> <p><1995年></p> <p>1.17 未明に阪神・淡路大震災発生、死者6348名、家屋の焼失・損壊多数</p> <p>1.25 阪神・淡路大震災に激甚災害指定</p> <p>3.20 東京・地下鉄内でサリン散布、12名死亡、重軽傷者多数</p> <p>4.19 円が80円台を突破、戦後最高値</p> <p>5.15 地方分権推進法成立</p> <p>6.9 地震防災対策特別措置法が成立</p> <p>6.9 「戦後50年」国会決議</p> <p>6.19 「地方分権推進委員会」が7委員で発足</p> <p>7.4 社会保障制度審議会が「公的介護保険創設」を勧告</p> <p>7.23 第17回参院選挙、社会党が大敗</p> <p>8.18 村山内閣改造</p>	<p>9.2 全労連、労働大臣と初会見</p> <p>10.6 「連合」第17回中央委で新会長に芦田甚之助を選出</p> <p>11.15 横浜地裁、東京電力賃金差別事件で原告勝訴判決</p> <p>12.15~16 全労連第12回臨時大会で95春闘方針決定</p> <p>12.27 国労と国鉄清算事業団は202億円損害賠償訴訟で和解成立</p> <p><1995年></p> <p>1.21 全労連、阪神淡路大震災で「すべての労働者が1日分賃金カンパ」のとりくみを呼びかける</p> <p>1.25 公務共闘は95春闘討論集会を開催</p> <p>2.16 春闘共闘第1次全国統行動</p> <p>2.26 95国民春闘勝利「2・26大集会」開く</p> <p>3.21 自治労、全電通、日教組、電機連合が社会党に解党と新党結成申し入れ</p> <p>4.7 中労委、JR九州・貨物に国労組合員の採用命令</p> <p>6.5 全労連、介護休業法成立で「実効性ない」と批判</p> <p>7.26~28 全労連第13回定期大会開く</p> <p>8.2~3 全電通大会、社会党支持団体から脱退決める</p> <p>8.26~28 全労連青年部主催のサマークーニバールを浜松市で開く</p>	<p>9.3~4 愛労連第11回定期大会</p> <p>9.11 参院愛知選挙区「再選挙」投票</p> <p>9.25 働く婦人の愛知県集会</p> <p>9.29 革新県政の会「愛知県民集会」</p> <p>10.2 愛知食糧メーデー</p> <p>10.5 秋季年末闘争勝利の「労働者総決起集会」(栄小公園)500人</p> <p>10.18 「徳田秋さんと革新県政をめざす」県民の集い(公会堂)</p> <p>10.29~11.5 「タイ・マレーシア日本企業進出」調査団を派遣</p> <p>11.16 争議支援愛知総行動/第42回愛知総行動との共同行動</p> <p>11.25 消費税の増税強行反対「愛知県民集会」(若宮大通り公園)</p> <p>12.4 第12回トヨタシンポジウム</p> <p>12.10~11 愛労連95国民春闘「学習討論」集会</p> <p>12.19 革新県政の会「労働者デー」</p> <p><1995年></p> <p>1.8 95国民春闘勝利「新春学習会」</p> <p>1.14 愛労連第12回臨時大会</p> <p>1.17 阪神・淡路大地震発生(大都市での歴史上の大惨事)</p> <p>2.5 愛知県知事選挙投票日(徳田秋候補、健闘もおよばず)</p> <p>2.16 愛知総行動/2.28婦人協総行動</p> <p>2.23~26 あいちSKカーニバル</p> <p>3.21 愛知県民集会(豊田市八幡公園)に1000人</p> <p>3.29 国立医療を守り賃金職員の処遇切り下げに反対する決起集会</p> <p>4.9 統一地方選挙(前半)/4.23(後半)投票日</p> <p>4.15 「戦後50周年」青年連絡会結成総会</p> <p>4.28 メーデー前夜祭(若宮公園)</p> <p>5.1 第66回メーデー</p> <p>5.9 5・9解雇規制「緊急署名運動開始」学習決起集会</p> <p>6.4~5 第6回裁判勝利をめざす全国交流会(愛知・三河三谷)</p> <p>6.24 青年ピースキッスフェスタ</p> <p>7.28 愛労連・商サ連「夏祭り」(若宮大通り公園)</p> <p>8.6 自衛隊艦船の「伊勢湾軍事演習反対」名古屋港集会</p> <p>8.15 「戦後50年8・15記念」市民の集い(弁護士会館)</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>9.8 全国町村長会の黒沢丈夫会長 核実験中止と核兵器廃絶の談話発表</p> <p>9.28 大田沖縄県知事は米軍用地使 用手続きの代理署名を拒否</p> <p>10.6 東京・大阪地裁で、国の責任 を認めHIV訴訟和解勧告</p> <p>10.21 沖縄県宜野湾市海浜公園で9 月4日発生した「米軍人による少女 暴行事件を糾弾し、日米地位協定の 見直しを要求する沖縄県民総決起大 会」</p> <p>12.7 行革委小委が規制緩和報告書 提出</p> <p>12.14 村山首相、オウム真理教に「破 防法」適用を了承</p> <p>12.15 最高裁、外国人登録で「指紋 押捺」に合憲、の判断</p> <p><1996年></p> <p>1.5 村山首相が辞意表明</p> <p>1.6 自民、社会、さきかけの連立与 党の幹事長・書記長会談で橋本自民 党総裁を統一首相候補の方針で一致</p> <p>1.11 第135臨時国会開会。村山富市 首相の退陣を受けて、第82代首相に 橋本龍太郎氏を選出</p> <p>1.19 社会党大会で党名を社会民主 党に改称することを決定</p> <p>2.2 巨額損失事件の大和銀行が米 国での業務から完全撤退</p> <p>2.7 陸上自衛隊の第1次ゴラン高 原派遣輸送隊の本隊が出発</p> <p>2.10 北海道余市町の国道229号豊浜 トンネルの天井面が崩落。バス、乗 用車など埋まる。(その後、20人が 遺体で発見)</p> <p>2.16 薬害エイズの原告・家族らに 菅厚相が国の責任を全面的に認め、 謝罪</p> <p>3.1 連立与党が衆議院予算委員会 理事会で6850億円の税金を投入する 住専処理策を盛り込んだ96予算案の 4日採決を宣言</p> <p>3.12 住専処理予算案の強行に反対 し、3・12緊急集会を開く</p> <p>3.27 大田沖縄県知事が記者会見し、 米軍用地強制使用のための代理署名 に応じない通知書を橋本首相に送付 したと表明</p>	<p>9.5 最高裁、関西電力の反共・思 想差別を弾劾する判決</p> <p>9.21 労働基準法研究会が労働時間 法制関係の報告を提出</p> <p>10.5~6 「連合」大会で「成熟社会 への挑戦」の運動方針を決定</p> <p>10.17~18 全労連評議員会で社会保 障改悪阻止、秋期年末闘争、全国一 律最賃制など決める</p> <p>11.30 全労連、労働法制全面改悪反 対の見解発表</p> <p>12.11 国労「JRに人権を! 1047人の 復職を求める12・11集会」開く</p> <p>12.14~15 全労連第14回臨時大会で、 96春闘を「経済と政治、社会の歪み をただす春闘」の方針決定</p> <p>12.25 東京電力の思想・人権侵害撤 廃を求める裁判で165人が19年ぶり に勝利和解</p> <p><1996年></p> <p>1.12 96国民春闘共闘委員会は日経 連総会会場前で抗議行動を展開 　　日経連は、東京で臨時総会を開き 「労働問題研究委員会報告」を確認</p> <p>1.12 「連合」は東京で拡大中央闘 争委員会を開き、「連合白書」を発表</p> <p>2.14 全労連は、静岡・熱海市で変 形労働時間問題の学習会を開く</p> <p>3.1 大阪府は、地方労働委員の1 人に大阪労連顧問の徳山重次氏を任 命した</p> <p>3.5 「連合」は東京・代々木公園 で中央総決起集会を開く</p> <p>3.9 全労連などで構成する96国民 春闘共闘委員会は東京・木場公園で 「96春闘勝利、諸要求実現めざす3・9 総決起集会」を開く</p> <p>3.14 全労連は静岡・熱海市で社会 保障集会を開催</p> <p>3.31 安保破棄中央実行委員会など の主催で「沖縄県民の要求実現!米 軍の特権を許すな! 基地撤去・安保 破棄13・31中央集会」が東京・亀戸 中央公園で開かれ、沖縄をはじめ全 国各地から9万人が参加</p> <p>4.12 全労連などで構成する96国民 春闘共闘委員会が賃上げ集計を発表 加重平均は10670円、3・41%になった</p> <p>4.15 連合は第4回賃上げ集計を発 表。加重平均で8421円</p>	<p>9.2~3 愛労連第13回定期大会</p> <p>9.9 雇用・賃金破壊とナショナル ・ミニマム「労働組合役割シンポ」</p> <p>9.23 名地連第4回街めぐり(海上 の森)</p> <p>9.30 総対話運動学習会(総対話運 動がスタートする)</p> <p>10.2 愛知労問研設立8周年「記念 講演会」</p> <p>10.14 第6回食糧メーデー(食や農 の創作曲を披露)</p> <p>10.18 「郵政人権裁判」東海支援共 闘・結成総会</p> <p>11.15 愛知96春闘共闘発足総会</p> <p>11.18 あんきに暮らせる名古屋をつ くろまい・市民シンポ</p> <p>12.9~10 愛労連春闘討論集会</p> <p><1996年></p> <p>1.13 愛労連新春学習会(産業貿易 館)</p> <p>1.15 沖縄の闘いを全国へ・日本の 主権と平和を守る1・15沖縄連帯集会</p> <p>1.27 愛労連第14回臨時大会</p> <p>2.10 沖縄基地撤去・安保廃棄・地 位協定見直し大宣伝行動と決起集会</p> <p>2.16 愛知総行動</p> <p>2.27 「住専問題」シンポジウム</p> <p>3.13 中電人権裁判・名古屋地裁で 歴史的勝利判決</p> <p>3.15 愛知春闘懇「96春闘勝利」決 起集会</p> <p>3.20 96国民春闘勝利労働者総決起 集会に2500人/トヨタ総行動に100人</p> <p>3.22 第2次全国統一行動日にスト で決起</p> <p>3.31 沖縄連帯・中央大集会に9万 人、愛知から240人(亀戸公園) 　　沖縄と連帯する新聞意見広告に個 人・団体で6216口分</p> <p>4.16 米大統領クリントン来るな昼 休み行動・宣伝と領事館へのデモ</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>3.28 東京地裁がオウム真理教に破産宣告</p> <p>3.29 薬害エイズ(HIV)に感染した血友病患者と家族が国と製薬会社と和解が成立した</p> <p>3.31 沖縄県読谷村の米軍楚辺通信所の用地が期限切れとなり、国の不法占拠状態になる</p> <p>4.20 沖縄・嘉手納町で嘉手納基地強化に反対して町ぐるみの大会開く</p> <p>4.24 東京地裁で地下鉄サリン事件の麻原彰晃被告の初公判が始まる</p> <p>5.1 第67回メーデー、東京・亀戸の中央集会に7800人が参加 　連合メーデーに橋本首相が自民党首相として初めて出席</p> <p>5.12 久保蔵相がNHKインタビューで消費税5%実施を表明</p> <p>6.4 全国革新懇が結成15周年、世話人総会開く</p> <p>6.18 参議院本会議で住専処理法案など6法案が与党の賛成で可決・成立。公職選挙法改悪案、首都移転推進法案などが与党、平成会の賛成で可決・成立</p> <p>6.25 橋本内閣が消費税を3%から5%への引き上げを閣議で決定</p> <p>7.9 大田沖縄県知事が米軍用地強制使用の公告・縦覧の代行を拒否</p> <p>7.13 大阪府堺市で、病原性大腸菌O157の集団食中毒が発生する</p> <p>7.29 橋本首相が東京・九段の靖国神社を参拝。現職首相としては11年ぶり</p> <p>8.4 新潟・巻町で原発建設の賛否を問う住民投票で反対が圧倒的多数を占める</p> <p>8.6 厚生省がO157を伝染病に指定</p>	<p>4.17 日経連は春季労使交渉の回答・妥結状況を発表。267社で平均8632円、2・80%</p> <p>5.1 第67回メーデーが全国で繰り広げられた。東京・亀戸中央公園には7800人が参加</p> <p>5.20 全労連、全国食健連、全労連織維・革靴の大量輸入阻止実行委員会、不況打開東京実行委員会は、共同して、通産省に対しセーフガードの発動を求める要請行動を行った</p> <p>6.1 全労連は静岡県磐田市でパート・臨時労働者全国交流集会を開催</p> <p>6.7 全労連は各地で全国一律最低賃金制確立を柱にしたナショナルミニマムの確立を求めて「最賃・ミニマムデー」を実施した。東京では労働省前座り込み、省庁・経済団体への要請などを行った</p> <p>6.28 全労連は東京で平和集会を開き、米軍横田基地調査を行った</p> <p>6.29 中央社保協と阪神淡路大震災救援復興兵庫県民会議は、東京で「阪神淡路大震災、人権・生存・生活と社会保障の全国調査報告シンポジウム」を開いた</p> <p>7.24 全労連大会が東示で開かれた。昨年大会からの「総対話・共同」の取り組みをさらに強化することを確認した。小林議長を選出した</p> <p>8.1 連合は中央執行委員会でスーパーなどの元旦営業に反対する「まとめ案」を確認した</p> <p>8.30 全労連国鉄闘争勝利首都圏共闘会議は、旧国鉄の「分割・民営化」によって起きた国鉄長期債務、1047人の解雇問題の解決を求めて、政党委託を行った</p>	<p>5.1 第67回愛知中央メーデー(白川公園)</p> <p>5.20 F4 戦闘機パンク事故に関する申し入れ行動</p> <p>5.25~26 東海自治体学校</p> <p>6.15 労働法制全面改悪反対学習交流会</p> <p>6.19~20 国労キャラバン東海集会、/国鉄闘争・運輸省大包囲行動</p> <p>7.10 ILO職員を囲んでの交流会</p> <p>8.8 民間労組「組織拡大」交流会</p> <p>8.21 婦人協「均等法問題で他団体との懇談会」を行う</p>

1996.9 ~ 1997.8

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>9.8 米軍基地の整理・縮小と日米地位協定見直しを問う沖縄県民投票で59%が投票。賛成が91%、有権者の53%に</p> <p>9.1 鳩山由紀夫と菅直人厚相らが新党の呼びかけ人会議で党名を「民主党」と内定</p> <p>9.22 民主党が事実上旗揚げ</p>	<p>9.30 自治労は東京で臨時大会を開き、衆議院は民主党への支援・協力を基軸にたたかう方針を決めた</p> <p>10.1 全労連女性部、新日本婦人の会などが呼びかけた『女子保護』規定改悪を許さず、実行ある均等法の改正を求める中央連絡会が東京で結成された</p>	<p>9.1~2 日本高齢者大会・愛知開催で愛労連の仲間が大奮闘</p> <p>9.7~8 愛労連第15回定期大会</p> <p>9.8 沖縄「県民投票」連帯行動</p> <p>10.21 愛知10・21県民集会/1500人</p> <p>10.23 中電本店大包囲行動に1000人中部5県から参加</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>10.20 総選挙で日本共産党が国政史上最高の726万票獲得し、26議席に躍進。自民党は単独過半数を獲得できず、新進党は改選時比4減の156議席。民主党は改選時と同じ52議席。社民党15議席、さきがけ2議席に</p> <p>11.7 特別国会召集。首班指名で橋本首相を再任</p> <p>11.25 佐々木秋田県知事が食糧費・旅費公金不正支出事件で辞意を表明</p> <p>11.29 第139臨時国会開会</p> <p>12.18 臨時国会閉幕</p> <p>12.20 橋本首相が97年度予算の大蔵原案を了承。国民に9兆円の負担増を求める</p> <p><1997年></p> <p>1.7 島根県隠岐島沖の日本海でロシア船籍のタンカー「ナホトカ」号が1月2日浸水・沈没し、大量に流出した重油が、福井・三国海岸に漂着し、漁民への被害が広がる</p> <p>1.29 オレンジ共済事件で新進党を離党した友部参議院議員が詐欺容疑で逮捕</p> <p>3.17 動燃爆発事故で科学技術庁が再処理工場の1年間停止を表明</p> <p>4.1 消費税が5%に引き上げられる</p> <p>4.12 動燃の火災事故で組織的な隠蔽工作が発覚し、管理職5人を更迭</p> <p>4.27 沖縄米海兵隊の実弾砲撃演習移転問題で、大分県日出生台演習場の地元3町の女性400人が「米軍はくるな」と集会</p> <p>5.13 証券取引等監視委員会、野村証券と元幹部3人を証券取引法違反の疑いで告発</p> <p>5.16 超党派議員連盟の「諫早湾を考える議員の会」諫早湾水門の開放求め、農水省に申し入れる</p> <p>5.24 神戸市で小学6年の男子が行方不明になる。6月28日に中学生が逮捕される。教育、少年法の論議が高まる</p> <p>6.10 第一勧銀の総会屋への利益供与事件で副頭取らを逮捕</p> <p>6.22 岐阜・御嵩町で産業廃棄物処分場建設の賛否を問う全国初の住民投票で8割が建設反対を表明</p> <p>6.26 東京高裁が日本共産党の緒方靖夫国際部長宅への電話盗聴事件で国と神奈川県に賠償命令</p>	<p>10.23 全労連は東京で評議員会を開き、秋季年末闇争方針と97春闘方針素案を確認した。全労連や、まともな労働運動の前進の新しい条件を作り出していると強調した</p> <p>11.8 公務共闘、公務労組連絡会は、消費税増税中止、臨時行革反対、公務員賃金の改善などを要求する行動を展開</p> <p>12.15 全労連は「21世紀へ今、飛躍のとき」をスローガンに初めて全国討論集会を神戸で開催した</p> <p><1997年></p> <p>1.14 全労連などで構成する97国民春闘共闘委員会は、日経連総会会場前で「大企業はボロ儲けをはきだせ」と抗議行動を展開</p> <p>1.23 全労連は東京で評議員会を開き、月額35000円以上の賃上げなどの方針を決定した。大量のオルグ団をつくることを提起</p> <p>2.24 全労連は「行政改革・規制緩和、労働法制対策本部」を設置</p> <p>2.27 全労連など97国民春闘共闘委員会は、消費税増税中止、医療大改悪阻止をメインに全国統行動を展開</p> <p>3.2 全労連、純中立労組懇がつくる国民春闘共闘と東京春闘共闘は、東京・明治公園で「97国民春闘勝利3・2大集会」を開いた</p> <p>4.22 全労連は東京で評議員会を開き、春闘の中間総括と当面の方針を決定した。「総対話と共同・10万人オルグ」大運動を提起</p> <p>4.25 国民春闘共闘は、賃上げ集計結果発表。加重平均で賃上げ11051円、3・4%に</p> <p>5.1 第68回メーデーの中央集会が東京・亀戸中央公園で開かれ85000人が参加した。連合主催のメーデー中央大会は東京・代々木公園で開かれた</p> <p>5.29 自治労は、岐阜で中央委員会を開き、これまでの「民主党基軸」を転換し、「当面、民主党、社会民主党と協力」の政治方針を確認</p> <p>6.7 全労連は静岡・熱海市でパート・臨時労働者全国交流集会を開催</p>	<p>11月～12月 この秋、様々な課題で市内騒然。社保協の大宣伝行動/中電支援共闘の裁判・宣伝・要請行動/革新市政の会が市政学習、宣伝、署名、政策提言など一大行動を起こす。愛労連も「総対話申し入れ」行動など連日の取り組み/消費税止めさせる会も大宣伝、署名行動を展開</p> <p>12.7～8 愛労連97春闘討論集会</p> <p><1997年></p> <p>1.11 愛労連新春大学習会（白鳥国際会議場）</p> <p>1.17 阪神大震災を繰り返さない市民集会</p> <p>1.25 愛労連第16回臨時大会</p> <p>2.13 みんなでつくる市民の集い（愛知県体育館）</p> <p>2.14 愛知総行動。以後連日、27日まで春闘勝利自動車パレードを含め再び昨年末同様の市内騒然のとりくみとなる</p> <p>2.27 消費税「増税阻止」全国統一行動</p> <p>3.7 愛労連婦人協・労働省への申し入れ</p> <p>3.8～9 年金者組合「介護、年金、消費税」で怒りの座り込み</p> <p>3.13 大島良満・名古屋市長選候補を囲む労働者トーク</p> <p>3.15 第18回トヨタ総行動</p> <p>3.21 青年・学生が市長選を闘う「ステキな名古屋をつくり隊」を結成</p> <p>4.20 名古屋市長選挙投票日・大島候補健闘 清洲町で大長（年金者組合事務局次長・共産党）町長誕生</p> <p>5.15 米軍用地強制使用に抗議する県民集会</p> <p>5.25 人権と民主主義を守る大集会（名古屋市公会堂）</p> <p>6.1 国鉄闘争「1の日」行動で、マラソン宣伝</p> <p>6.17 ルーマニア電力労組代表団来名・交流懇談</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>6.27 85年に長野市内で起きた地滑り災害で損害賠償を求めた裁判で、長野地裁が県に損害賠償金の支払いを命じる</p> <p>7.2 東京湾の横浜沖でパナマ船籍のタンカーが座礁、大量の原油が流出</p> <p>7.6 都議選でシルバーパス廃止反対を訴えた日本共産党が史上最高の26議席に躍進。都議会第2党に</p> <p>7.12 自衛隊機C130・3機が「カンボジアの邦人救出」を名目に那覇空港を出発し、タイに到着</p> <p>8.26 建設省が12ダム事業の中止・休止を決定</p>	<p>7.17 全労連は「人事院勧告の『凍結』に反対する要請」を政府に申し入れた</p> <p>7.23 全労連は横浜市で定期大会を開催</p> <p>8.3 全労連は、米海軍横須賀基地に停泊中の米空母インデペンデンスが36000リットルの軽油を流した事件に抗議、クリントン米大統領と在日米軍横須賀基地司令官に打電</p>	<p>6.21 オール金属「産業空洞化」シンポジウム</p> <p>8.2 雇用のあり方を考えるシンポ</p>

1997. 9 ~ 1998. 8

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>9.1 医療保険改悪が実施</p> <p>9.7 京都・城陽市で革新の大西氏が当選</p> <p>9.29 第141臨時国会が開会</p> <p>10.4 参議院で「女性国会」聞く</p> <p>10.16 防衛庁が滋賀県あいばの演習場での日米共同演習に参加する米軍の移動に関西国際空港を使用すると発表</p> <p>10.25 三菱、日立など20数社が総会屋・暴力団に資金を提供。前例がない企業不祥事の様相に</p> <p>11.11 中国の李鵬首相が来日、橋本首相に新ガイドラインに懸念を表明</p> <p>11.24 山一証券が自主廃業を正式に決定</p> <p>11.28 「財政構造改革」法案が参議院本会議で成立</p> <p>12.1 地球温暖化防止京都会議開幕(COOP3)</p> <p>12.21 名護市の海上基地建設を問う住民投票で反対派が圧勝</p> <p><1998年></p> <p>1.6 自由党が結党大会、党首に小沢一郎氏を選出</p> <p>1.28 三塚蔵相、大蔵省の金融検査をめぐる汚職で辞任</p> <p>2.7 冬季オリンピック長野大会が開幕</p>	<p>9.10 公務共闘と公務労組連絡会は東京で「97秋年闘争第1次中央行動」を開催</p> <p>9.11 全労連は静岡・熱海市で「行革・規制緩和、労働法制全国学習交流集会」を開催した</p> <p>9.20 全労連や民放労連、出版労連などが東京で「24時間型社会を考えるシンポジウム」を開いた</p> <p>11.10 労働法制改悪反対で全労連と連合がそれぞれ労働省前で座り込みを行い、お互いに工具を交換した</p> <p>11.20 全労連は新潟市で98国民春闘討論集会(東日本)を開いた</p> <p>11.27 全労連は岡山・倉敷市で春闘討論集会(西日本)を開いた</p> <p>12.1 全労連は東京で「気軽にトーク、本気でチャレンジ」をテーマに、パート・臨時・非「正規」労働者のつどいを開催した</p> <p><1998年></p> <p>1.13 日経連臨時総会が東京で開かれ、6年連続でペア・ゼロを強調した労問研報告を確認</p> <p>/全労連などがつくる98国民春闘共闘は日経連総会会場前で「労問研報告」に対する抗議集会を開いた</p>	<p>9.6~7 愛労連第17回定期大会</p> <p>9.10 関西国際空港現地調査</p> <p>10.2~5 第2回全労連労争議団・家族との激励交流、北海道ツアーバス</p> <p>10.21 新ガイドライン阻止10.21愛知県集会</p> <p>10.19 愛労連・民間部会「雇用シンポ」</p> <p>11.1 住民が主人公の地方自治をすすめる交流集会(千種区役所講堂)</p> <p>11.17 中電人権裁判「勝利和解」</p> <p>11.24 第3回「あいちパートの元気ができる」集会</p> <p>12.6 愛労連・春闘共闘「98国民春闘」討論集会</p> <p>12.8 新ガイドライン反対全国1万ヶ所宣伝行動</p> <p>/労働法制改悪反対「厚生省・労働省前」総行動</p> <p><1998年></p> <p>1.4 愛労連青年協「新春交流会」</p> <p>1.10 愛労連・春闘共闘「98新春大会」</p> <p>1.24 愛労連第18回臨時大会</p> <p>2.1 富士を擊つな東富士行動</p> <p>2.5 98春闘「造船・重機」早朝門前宣伝行動</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>2.16 30兆円銀行支援二法(預金保険法「改正」、金融機能安定化緊急措置法)が参議院本会議で成立</p> <p>3.5 大手銀行など公的資金の受け入れを申請。総額は2兆円規模</p> <p>3.5 長野パラリンピック冬季大会が過去最多の32ヶ国参加で開幕</p> <p>3.9 埼玉県東松山市の中学一年生が同級生に折りたたみナイフで刺され、死亡</p> <p>3.19 NPO法が衆議院本会議で全会一致で可決・成立</p> <p>4.8 中央労働委員会が、168人の国労組合員への不当労働行為を認め、JR東日本に対し、救済命令</p> <p>4.15 大手コンビニチェーン本部の横暴から加盟店の営業と生活を守るうと、東京で「コンビニ・FC加盟店全国協議会」結成大会、店長ら150人以上が参加</p> <p>5.12 衆議院本会議で「サッカーくじ」法案が成立</p> <p>5.15 東京株式市場で一時1ドル146円台、株価も15000円台を割り、円、株が下落</p> <p>5.26 地下鉄サリン事件などオウム真理教事件で、殺人罪などの林郁夫被告に東京地裁が無期懲役の判決</p> <p>6.1 社民・さきがけの両党が与党を離脱</p> <p>6.18 第142通常国会が閉会</p> <p>7.12 第18回参議院選挙、自民惨敗、日本共産党15議席獲得の大躍進</p> <p>7.12 東大阪市長選挙で革新の長尾淳三さん当選</p> <p>7.13 橋本首相が辞意表明</p> <p>7.16 政府はガイドライン具体化のための「周辺事態措置法案」で「周辺事態」の際に公営バス、救急車、公立病院、公共施設なども提供を求めるることを関係自治体に説明</p> <p>7.26 和歌山市園部地域の自治会主催の夏祭りで青酸化合物など毒物入りカレーライスを食べた60人以上が被害、うち4人が死亡</p> <p>7.30 第143国会が開会。首班指名で衆議院は小渕自民党総裁、参議院は菅民主党代表を選出。小渕が首相に</p> <p>8.5 川崎公害訴訟で原告全面勝利の判決(横浜地裁川崎支部)</p> <p>8.6 フランス橋計画を撤回と京都市長が表明</p>	<p>1.17 阪神大震災から3周年のこの日を前後して「1・17メモリアル行動」で公的支援実現をアピール</p> <p>1.22 全労連は評議員会で「35000円以上」「誰でも20000円以上」の賃上げ要求の春闘方針を決定した</p> <p>1.29 全労連は静岡・熱海市で社会保障討論集会を開き、98春闘で大規模に社会保障闘争を展開することを確認した</p> <p>1.29 大運動実行委員会は、東京の日比谷野外音楽堂で「国民に犠牲をおしつける30兆円の銀行支援を許すな!・29緊急中央集会」を開いた</p> <p>2.26 全労連などでつくる国民春闘共同委員会は、全国で「日本列島騒然200万人総行動」を行った</p> <p>3.8 全労連などでつくる98国民春闘共同委員会は、東京・代々木公園で「春闘勝利3・8中央総決起集会」を開き、12万人以上が参加した</p> <p>4.23 全労連は東京で評議員会を開き、98春闘の中間総括と当面の闘争方針を確認した</p> <p>4.23 労働法制中央連絡会と「女子保護・均等法連絡会合同闘争本部は、政府の労基法改悪法案の廃案をめざし、東京で中央総決起集会を開催</p> <p>5.1 第69回メーデー中央集会が東京・亀戸中央公園で開かれた</p> <p>5.23 全労連は静岡県で、「第6回パート・臨時・非「正規」労働者全国交流集会」を開いた</p> <p>8.7 全労連、純中立懇、MIC(日本マスコミ文化情報労組会議)の3団体は、磯崎弘幸さん(民放労連顧問)を第25期・中央労働委員会労働者委員候補への推薦手続きを行った</p>	<p>2.15 98国民春闘勝利(交運部会)自動車大パレード</p> <p>2.26 100万人列島騒然2・26愛知総行動(15000人が参加)</p> <p>3.8 春闘勝利3・8中央総決起集会に12万名(東京・代々木公園) / みなと・みんなの人権フェスタ(港湾会館)</p> <p>3.19 全国統一行動「愛知98春闘勝利総決起集会」に2500人</p> <p>3.31 消費税やめさせる連絡会と消団連共同の「ロングラン宣伝」</p> <p>4.17 労働法制改悪阻止・地元国会議員要請行動</p> <p>4.28 新ガイドライン、有事立法反対一斉宣伝・学習行動</p> <p>5.1 第69回愛知県中央メーデー</p> <p>5.20 悪政阻止、不況打開、大幅減税5.20総行動</p> <p>6.17 「インド・パキスタン核実験」緊急学習行動 / 「雇用確保のための緊急要請行動」</p> <p>6.18 人労闘争「公務労働者総決起集会」</p> <p>7.12 参議院選挙投票日、愛知で八田(共産党)初議席、自民議席ゼロ</p> <p>8.10 米艦船「モーピルベイ」名古屋港寄港反対・緊急抗議集会</p> <p>8.26 全港湾由良分会「浅井さん職場復帰」祝賀会</p>

政治・経済	労働運動	愛労連
<p>9.25 参議院本会議で労働基準法改悪法案が可決・成立</p> <p>10.2 総務庁は8月の労働力調査を発表、完全失業率4·34%、完全失業者297万人でともに過去最悪</p> <p>10.23 介護保険の財政措置拡充などを求める要望書を全国町村会が政府に提出</p> <p>11.15 沖縄県知事選挙で現職の大田知事が惜敗。当選は稻嶺恵一氏</p> <p>11.21 日米軍事同盟打破、基地撤去98日本平和大会が佐世保市で開催</p> <p>11.23 アメリカ国防総省は日本に新ガイドラインの「完全かつ効果的な履行」を迫る「東アジア・太平洋安全保障戦略報告」を発表</p> <p><1999年></p> <p>1.12 日経連は臨時総会を開き、財界の春闘対策方針の「労働問題研究委員会報告」を発表</p> <p>1.26 中央省庁等改革推進本部は「中央省庁等改革に関わる大綱」を決定</p> <p>2.5 新ガイドラインとその立法化に反対する国民連絡会は、国会内の各政党を訪れ、新ガイドライン法案を廃案にするよう申し入れた</p> <p>2.19 政府予算案が衆議院を通過</p> <p>4.1 改悪労基法と開廷均等法が施行された</p> <p>4.11/25 いっせい地方選挙の投票が行われ、日本共産党が大躍進</p> <p>5.11 盗聴法に反対する実行委員会が「盗聴法を廃案に追い込む緊急アピール」を発表</p> <p>5.13 日経連は総会で会長に、トヨタ自動車の奥田社長を選出</p> <p>5.24 自民・自由・公明が参院特別委員会と本会議で連続的に新ガイドライン法案を強行・採決した</p> <p>5.31 自民・自由・公明が盗聴法も衆院法務委員会で強行(6·1本会議で可決・決定される)</p> <p>6.30 労働者派遣法と職業安定法の改悪が自民・自由・公明・民主・社民などの賛成で参院本会議で可決・成立</p> <p>7.29 自民・自由・公明の3党が「産業再生」法案を衆院で強行採決</p> <p>8.9 参院本会議で自民・自由・公明が「日の丸・君が代」法制化法案を強行成立させた</p>	<p>9.16 全労連はアメリカ政府に未臨界核実験を中止するよう求める要請書を送った</p> <p>10.9~10 全労連と労働総研は札幌市で、第2回地域政策研究全国交流集会を開いた</p> <p>10.22 全労連は東京で評議員会を開き、秋闇方針と99春闇方針案を確認した</p> <p>11.6 全労連は「不況を克服し、くらしと雇用を守ろう」と全国各地で列島総行動を終日繰りひろげた</p> <p>12.22 労働省は98年の労働組合組織率が22·4%、組合員数は1209万3000人と発表</p> <p><1999年></p> <p>1.12 全労連は日経連「労問研報告」に対し「さらに労働者・国民の生活破壊をすすめようとしている」と抗議する坂内三夫事務局長談話を発表</p> <p>2.7 全労連など99国民春闇共闘委員会と東京春闇共闘会議、国民大運動実行委員会は、東京で「2·7国民総決起集会」を開催。8日には、「不況打開 2·8霞ヶ関総行動」を展開</p> <p>3.18 99国民春闇共闘委員会は「超低額回答をねかえそう」と、ストライキを含む第1次全国統一行動</p> <p>4.23 全労連はNATO軍のユーゴ空爆の即時停止と和平交渉を求める坂内三夫事務局長談話を発表</p> <p>5.1 全労連など、国民春闇共闘の第70中央メーデーが東京・亀戸中央公園で開かれ、8万人が参加</p> <p>5.21 宗教者と陸・海・空・港湾労組20団体が「新ガイドラインに反対する人はみんな集まれ」と呼びかけた「5·21全国大集会」に5万人が参加</p> <p>6.1 全労連、連合、全労協などは国会前で派遣法改悪反対や生活・雇用危機突破などの共通要求を掲げた「1日共闘」の座り込みを行った</p> <p>6.24 「許すな盗聴法！ 6.24大集会」</p> <p>7.8 全労連は、中央省庁等改革関連法案と地方分権一括法案の成立に抗議する事務局長談話を発表</p> <p>8.11 人事院は99年度の国家公務員の給与勧告、過去最低0·28%の引き上げ、特別給0·3ヶ月の引き下げなど</p> <p><1999年></p> <p>1.9 愛労連99新春大学習会</p> <p>1.10 「あったか県政の会」発足総会</p> <p>1.25 知事選勝利・労働者連絡会オフィス大宣伝行動</p> <p>1.27 県政の会「大演説会」県体育館</p> <p>2.1 全勤労全国キャラバン(愛知)</p> <p>2.7 愛知知事選挙投票日、影山候補あと一步と迫る796,361票</p> <p>2.25 不況打開・雇用・福祉を守る愛知総行動</p> <p>2.27 国民が主人公の行革を求めるシンポ</p> <p>3.3 愛労連「はたらく女性の110番」</p> <p>3.6 新ガイドライン反対県民集会</p> <p>3.25 新ガイドラインに反対する女性の会結成</p> <p>4.28 陸、海、空、港湾関連19労組がガイドライン阻止のアピール</p> <p>5.1 第70回愛知県中央メーデー(名城公園) 11000人</p> <p>5.12 第30期「地労委裁判」判決、事実上の勝訴</p> <p>6.8~24 盗聴法反対連続宣伝行動</p> <p>6.21 愛知県の補助金カット反対で障害者・福祉関係と愛労連との共同による「県庁前座り込み」「県庁包围」行動</p> <p>6.26~28 第3回全勤労争議団・家族との激励交流北海道ツアー</p> <p>7.21 名古屋弁護士会との「司法改革」懇談会</p> <p>8.21~25 全労連東海北陸ブロック10周年記念・中国視察・交流の旅</p>	<p>9.6 愛労連第19回定期大会</p> <p>9.9 新ガイドライン反対申入行動</p> <p>9.16 労基法、派遣法改悪阻止第2次国会前座り込み行動</p> <p>10.5 藤原千鶴保全とゴミ問題緊急集会</p> <p>10.9 盗聴法反対国会要請行動</p> <p>10.14 銀行へ税金投入反対緊急集会</p> <p>11.6 不況打開、くらし・雇用を守る11·6愛知総行動</p> <p>11.28 日立争議団・地労委全面勝利</p> <p>11.29 あいち元気の出るパート集会</p> <p>12.5~6 99国民春闇討論集会</p> <p>12.23 愛労連第20回臨時大会</p> <p>12.24 消費税10周年・知事選挙勝利Xmas宣伝行動</p>

愛労連1990年度執行体制

(1989.11.17 ~ 1990.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	井上 利雄	自治労愛知県本部
副 議 長	坂崎 進	自治労愛知県本部
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	見崎 徳弘	愛高教
事 務 局 長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
事務局次長	山崎 節敏	運輸一般愛知地方本部
幹 事	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
"	永井 和彦	自治労愛知県本部
"	浅野 均	愛知国公共闘
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	近藤 宣彦	タクシー協議会
"	鈴木 正明	愛建労
"	鈴木 一	全国一般愛知地方本部
"	鈴木 芳男	全勤労愛知支部
"	千葉 祐二	東三河地域センター(準)
"	根村 浩二	J M I U 愛知地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	的場 忠則	建設一般愛知県本部
"	渡辺三千夫	全港湾名古屋支部
"	酒井 文子	婦人協(自治労連)
会計監査	瀧日 豊文	愛知国公共闘
"	松本 樹明	福保労東海地方本部
"	武藤 仁	千種・名東労連
顧 問	中原東四郎	前愛知統一労組懇代表
"	成瀬 昇	前愛労評議長
事 務 局	田中 道代	
"	小中久巳子	

愛知ローカルセンター結成準備会

(1989.6.21 ~ 1989.11.17)

役職名	氏名	出身単産・地域等
世 話 人	井上 利雄	自治労愛知県本部
"	内田 基大	建設一般愛知県本部
"	大平 敏也	J M I U 愛知地本(準)
"	加藤 勝	名中地域センター(準)
"	黒田 二郎	千種名東地域設立(準)
"	鈴木 一	全国一般愛知地方本部
"	永田 敏世	愛知国公共闘
"	平沢 豊彦	運輸一般愛知地方本部
"	松岡 洋文	愛知県医労連
"	村上 俊雄	愛高教
"	渡辺三千代	全港湾名古屋支部
特別世話人	中原東四郎	愛知統一労組懇
"	成瀬 昇	前愛労評議長
代表世話人	井上 利雄	自治労愛知県本部
事 務 局 長	見崎 徳弘	愛高教
事務局次長	黒島 英和	全国一般愛知地方本部
事 務 局 員	坂崎 進	自治労愛知県本部
"	藤井 静守	全港湾名古屋支部
"	松井 鉄夫	愛知国公共闘
"	阿部 精六	愛知統一労組懇
"	永井 和彦	愛知統一労組懇
"	山崎 節敏	愛知統一労組懇
"	小中久巳子	アルバイト

愛労連1992年度執行体制
(1991.9 ~ 1992.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	井上 利雄	自治労連愛知県本部
副議長	坂崎 進	自治労連愛知県本部
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	見崎 徳弘	愛高教
"	三井 公子	婦人協(愛高教)
事務局長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
事務局次長	山崎 節敏	運輸一般愛知地方本部
幹 事	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
"	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	安形 清隆	愛知国公共闘
"	浅野信一郎	年金者組合愛知県本部
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	栗木 稔	愛高教
"	黒田 二郎	千種・名東労連
"	近藤 宣彦	タクシー協議会
"	佐藤 清純	自治労連愛知県本部
"	篠原 俊彦	全港湾名古屋支部
"	鈴木 正明	愛建労
"	立木 勝義	全勤労愛知支部
"	谷藤 賢治	運輸一般愛知地方本部
"	千葉 祐二	東三河労連
"	土井 照雄	港地区労
"	根村 浩二	J M I U 愛知地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	本多 一郎	生協労連愛知県協議会
"	松本 樹明	福保労東海地方本部
"	的場 忠則	建設一般愛知県本部
"	斎藤 孝子	婦人協(自治労連)
"	伊藤 勝敏	青年協(自治労連)
会計監査	辻 孝	愛知国公共闘
"	豊原 政己	検数労連名古屋支部
"	水田 清一	名南労連
顧 問	中原東四郎	前愛知統一労組懇代表
"	成瀬 昇	前愛労評議長
事務局	田中 道代	
"	小中久巳子	

愛労連1991年度執行体制
(1990.9 ~ 1991.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	井上 利雄	自治労連愛知県本部
副議長	坂崎 進	自治労連愛知県本部
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	見崎 徳弘	愛高教
"	三井 公子	婦人協(愛高教)
事務局長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
事務局次長	山崎 節敏	運輸一般愛知地方本部
幹 事	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
"	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	川澄 博久	愛知国公共闘
"	木下 一彦	全勤労愛知支部
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	栗木 稔	愛高教
"	黒田 二郎	千種・名東労連
"	小出 一則	生協労連愛知県協議会
"	小寺 徹	自治労連愛知県本部
"	近藤 宣彦	タクシー協議会
"	鈴木 正明	愛建労
"	谷藤 賢治	運輸一般愛知地方本部
"	千葉 祐二	東三河労連
"	土井 照雄	港地区労
"	根村 浩二	J M I U 愛知地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	松本 樹明	福保労東海地方本部
"	的場 忠則	建設一般愛知県本部
"	渡辺三千夫	全港湾名古屋支部
"	酒井 文子	婦人協(自治労連)
"	滝澤 真志	青年協(自治労連)
会計監査	辻 孝	愛知国公共闘
"	豊原 政己	検数労連名古屋支部
"	武藤 仁	千種・名東労連
顧 問	中原東四郎	前愛知統一労組懇代表
"	成瀬 昇	前愛労評議長
事務局	田中 道代	
"	小中久巳子	

愛労連1994年度執行体制
(1993.9 ~ 1994.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	井上 利雄	自治労連愛知県本部
副議長	坂崎 進	自治労連愛知県本部
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	見崎 徳弘	愛高教
"	駒田 富枝	婦人協(自治労連)
事務局長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
事務局次長	山崎 節敏	運輸一般愛知地方本部
幹 事	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
"	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	北畠 良介	検数労連名古屋支部
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	栗木 稔	愛高教
"	黒田 二郎	千種・名東労連
"	近藤 宣彦	タクシー協議会
"	佐藤 利和	全勤労愛知支部
"	鈴木 正明	愛建労
"	谷藤 賢治	運輸一般愛知地方本部
"	千葉 祐二	東三河労連
"	都築 基雄	年金者組合愛知県本部
"	土井 照雄	港地区労
"	中根 幹男	豊田・加茂労連
"	根村 浩二	J M I U愛知地方本部
"	平出 曜	福保労東海地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	本多 一郎	生協労連愛知県協議会
"	増田 晴穂	愛知国公共闘
"	的場 忠則	建設一般愛知県本部
"	吉村 讓	自治労連愛知県本部
"	高田 紀子	婦人協(愛高教)
会計監査	大野 正之	愛知国公共闘
"	水田 清一	瑞穂区労連
"	山田喜久雄	銀座労
顧 問	中原東四郎	前愛知統一労組懇代表
"	成瀬 昇	前愛労評議長
事務局	田中 道代	
"	竹内 創	
"	小中久巳子	

愛労連1993年度執行体制
(1992.9 ~ 1993.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	井上 利雄	自治労連愛知県本部
副議長	坂崎 進	自治労連愛知県本部
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	見崎 徳弘	愛高教
"	三井 公子	婦人協(愛高教)
事務局長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
事務局次長	山崎 節敏	運輸一般愛知地方本部
幹 事	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
"	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	安形 清隆	愛知国公共闘
"	浅野信一郎	年金者組合愛知県本部
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	栗木 稔	愛高教
"	黒田 二郎	千種・名東労連
"	近藤 宣彦	タクシー協議会
"	桜井 善行	西三河南労連
"	鈴木 正明	愛建労
"	立木 勝義	全勤労愛知支部
"	谷藤 賢治	運輸一般愛知地方本部
"	千葉 祐二	東三河労連
"	土井 照雄	港地区労
"	根村 浩二	J M I U愛知地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	本多 一郎	生協労連愛知県協議会
"	松本 樹明	福保労東海地方本部
"	的場 忠則	建設一般愛知県本部
"	吉村 讓	自治労連愛知県本部
"	斎藤 孝子	婦人協(自治労連)
"	伊藤 勝敏	青年協(自治労連)
会計監査	豊原 政己	検数労連名古屋支部
"	牧野 浩	愛知国公共闘
"	水田 清一	名南労連
顧 問	中原東四郎	前愛知統一労組懇代表
"	成瀬 昇	前愛労評議長
事務局	田中 道代	
"	小中久巳子	

愛労連1996年度執行体制
(1995.9 ~ 1996.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	井上 利雄	自治労連愛知県本部
副 議 長	坂崎 進	自治労連愛知県本部
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	土井 照雄	港地区労
"	見崎 徳弘	愛高教
"	駒田 富枝	婦人協(自治労連)
事 務 局 長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
事務局次長	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
幹 事	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	青山 一雄	愛知国公共闘
"	栗生 政男	岡崎額田地域センター
"	鵜野 武	タクシー協議会
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	梅野 敏基	自治労連愛知県本部
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	北畠 良介	検数労連名古屋支部
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	駒田 伝雄	年金者組合愛知県本部
"	佐藤 利和	全動労愛知支部
"	鈴木 正明	愛建労
"	谷藤 賢治	運輸一般愛知地方本部
"	千葉 祐二	東三河労連
"	根村 浩二	J M I U 愛知地方本部
"	平出 曜	福保労東海地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	本多 一郎	生協労連愛知県協議会
"	的場 忠則	建設一般愛知県本部
"	萬木 康弘	愛高教
"	大橋 路代	婦人協(愛高教)
"	寺田 英明	青年協(愛高教)
会計監査	土屋 賢一	愛知国公共闘
"	水田 清一	瑞穂区労連
"	山田喜久雄	銀産労
事 務 局	田中 道代	
"	竹内 創	
"	小中久巳子	

愛労連1995年度執行体制
(1994.9 ~ 1995.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	井上 利雄	自治労連愛知県本部
副 議 長	坂崎 進	自治労連愛知県本部
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	土井 照雄	港地区労
"	見崎 徳弘	愛高教
"	駒田 富枝	婦人協(自治労連)
事 務 局 長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
事務局次長	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
幹 事	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	青山 一雄	愛知国公共闘
"	栗生 政男	岡崎額田地域センター
"	鵜野 武	タクシー協議会
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	梅野 敏基	自治労連愛知県本部
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	北畠 良介	検数労連名古屋支部
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	栗木 稔	愛高教
"	佐藤 利和	全動労愛知支部
"	鈴木 正明	愛建労
"	谷藤 賢治	運輸一般愛知地方本部
"	千葉 祐二	東三河労連
"	都築 基雄	年金者組合愛知県本部
"	根村 浩二	J M I U 愛知地方本部
"	平出 曜	福保労東海地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	本多 一郎	生協労連愛知県協議会
"	的場 忠則	建設一般愛知県本部
"	高田 紀子	婦人協(愛高教)
"	寺田 英明	青年協(愛高教)
会計監査	土屋 賢一	愛知国公共闘
"	水田 清一	瑞穂区労連
"	山田喜久雄	銀産労
顧 問	中原東四郎	前愛知統一労組懇代表
"	成瀬 昇	前愛労評議長
事 務 局	田中 道代	
"	竹内 創	
"	小中久巳子	

愛労連1998年度執行体制
(1997.9 ~ 1998.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
副議長	坂崎 進	自治労連愛知県本部
"	青山 一雄	愛知国公共闘
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	土井 照雄	港地区労
"	堀川 侑男	運輸一般愛知地方本部
"	三宅 一光	自治労連愛知県本部
"	大橋 路代	婦人協(愛高教)
事務局長	見崎 徳弘	愛高教
事務局次長	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
幹 事	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	青木 信一	全勤労愛知支部
"	伊藤恵美子	建設一般愛知県本部
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	太田 孝雄	タクシー協議会
"	加藤 伸二	愛知国公共闘
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	加藤 義昭	愛高教
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	樽松 佐一	生協労連愛知県協議会
"	駒田 伝雄	年金者組合愛知県本部
"	桜井 善行	西三河南労連
"	末広 謙三	検数労連名古屋支部
"	杉本 一夫	千種・名東労連
"	鈴木 正明	愛建労
"	田上 光徳	自治労連愛知県本部
"	田中 道代	愛労連職員労組
"	千葉 祐二	東三河労連
"	原田 敏之	J M I U 愛知地方本部
"	平出 曜	福保労東海地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	伊藤 景子	婦人協(自治労連)
会計監査	安藤 三夫	愛知国公共闘
"	加藤 栄治	名古屋中地域センター
"	山田喜久雄	銀産労
顧問	井上 利雄	(前愛労連議長)
事務局	竹内 創	
"	小中久巳子	

愛労連1997年度執行体制
(1996.9 ~ 1997.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	井上 利雄	自治労連愛知県本部
副議長	坂崎 進	自治労連愛知県本部
"	青山 一雄	愛知国公共闘
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	土井 照雄	港地区労
"	見崎 徳弘	愛高教
"	駒田 富枝	婦人協(自治労連)
事務局長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
事務局次長	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
幹 事	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	鵜野 武	タクシー協議会
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	加藤 伸二	愛知国公共闘 "
"	加藤 勝	名古屋中地域センター
"	加藤 義昭	愛高教
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	駒田 伝雄	年金者組合愛知県本部
"	桜井 善行	西三河南労連
"	佐藤 利和	全勤労愛知支部
"	末広 謙三	検数労連名古屋支部
"	鈴木 正明	愛建労
"	田上 光徳	自治労連愛知県本部
"	谷藤 賢治	運輸一般愛知地方本部
"	千葉 祐二	東三河労連
"	根村 浩二	J M I U 愛知地方本部
"	平出 曜	福保労東海地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	本多 一郎	生協労連愛知県協議会
"	の場 忠則	建設一般愛知県本部
"	大橋 路代	婦人協(愛高教)
会計監査	安藤 三夫	愛知国公共闘
"	水田 清一	瑞穂区労連
"	山田喜久雄	銀産労
事務局	田中 道代	
"	竹内 創	
"	小中久巳子	

愛労連2000年度執行体制
(1999.9 ~ 2000.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
副議長	伊豆原 直	自治労連愛知県本部
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	土井 照雄	港地区労
"	中川 量幾	愛知国公共闘
"	羽根 克明	自治労連愛知県本部
"	堀川 侑男	運輸一般愛知地方本部
"	渡辺 博子	婦人協(愛高教)
事務局長	見崎 徳弘	愛高教
事務局次長	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
幹 事	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	青木 信一	全勤労愛知支部
"	板倉 邦之	年金者組合愛知県本部
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	太田 孝雄	タクシー協議会
"	尾崎 吉政	東三河労連
"	小野 能弘	検数労連名古屋支部
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	榑松 佐一	生協労連愛知県協議会
"	近藤 啓志	愛高教
"	杉江 功	知多地域労連
"	田上 光徳	自治労連愛知県本部
"	田中 道代	愛労連職員労組
"	玉置 重光	千種・名東労連
"	仲野 智	福保労東海地方本部
"	原田 敏之	J M I U 愛知地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	堀 勝	名古屋中地域センター
"	松原 勝己	豊田・加茂労連
"	宮沢 久孔	愛知国公共闘
"	伊藤 景子	婦人協(自治労連)
"	森 雅子	青年協(自治労連)
会計監査	加藤 栄治	名古屋中地域センター
"	牧野 浩	愛知国公共闘
"	山田喜久雄	銀産労
顧 問	井上 利雄	(前愛労連議長)
"	坂崎 進	(前愛労連副議長)
事務局	竹内 創、小中久巳子	
(労働相談)	黒島 英和、津田 顕、三枝 豊明	

愛労連1999年度執行体制
(1998.9 ~ 1999.8)

役職名	氏名	出身単産・地域等
議 長	阿部 精六	全国一般愛知地方本部
副議長	伊豆原 直	自治労連愛知県本部
"	青山 一雄	愛知国公共闘
"	加藤瑠美子	愛知県医労連
"	土井 照雄	港地区労
"	堀川 侑男	運輸一般愛知地方本部
"	三宅 一光	自治労連愛知県本部
"	大橋 路代	婦人協(愛高教)
事務局長	見崎 徳弘	愛高教
事務局次長	伊藤むつを	建設一般愛知県本部
幹 事	永井 和彦	自治労連愛知県本部
"	青木 信一	全勤労愛知支部
"	伊藤惠美子	建設一般愛知県本部
"	牛田 正美	全印総連愛知地連
"	太田 孝雄	タクシー協議会
"	尾崎 吉政	東三河労連
"	小野 能弘	検数労連名古屋支部
"	加藤 伸二	愛知国公共闘
"	加藤 義昭	愛高教
"	河井 孝徳	愛知地域労組きずな
"	国村 忠文	全国一般愛知地方本部
"	榑松 佐一	生協労連愛知県協議会
"	駒田 伝雄	年金者組合愛知県本部
"	杉本 一夫	千種・名東労連
"	田上 光徳	自治労連愛知県本部
"	田中 道代	愛労連職員労組
"	仲野 智	福保労東海地方本部
"	原田 敏之	J M I U 愛知地方本部
"	平田 茂	尾中地区労連
"	松原 勝己	豊田・加茂労連
"	伊藤 景子	婦人協(自治労連)
"	小川 雅子	青年協(自治労連)
会計監査	加藤 栄治	名古屋中地域センター
"	森岡 正	愛知国公共闘
"	山田喜久雄	銀産労
顧 問	井上 利雄	(前愛労連議長)
"	坂崎 進	(前愛労連副議長)
事務局	竹内 創	
"	小中久巳子	
(労働相談)	黒島 英和	

愛労連加盟組織一覧表（単産）

組合名	電話番号	住 所
生協労連東海地連愛知県協議会	052-703-3019	名古屋市名東区猪高町上社井堀25-1
愛知地域労働組合 きずな	052-883-6961	名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館307
全日本年金者組合愛知県本部	052-521-7740	名古屋市西区城西三丁目15-32
全日本建設交運一般労働組合愛知県本部 (全日本運輸一般労働組合愛知地方本部) (全日自労建設一般労働組合愛知県本部) (全国鉄動力車労働組合東海地方本部愛知支部)	052-353-1911	名古屋市中川区宮脇町二丁目99-2 <1999年10月3日・3労組が組織合同>
全労連・全国一般労働組合愛知地方本部	052-883-6977	名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館405
愛知地方建設産業労働組合	052-931-5767	名古屋市東区東大曾根町33番24号 第三百百合ビル1階
愛知県医療労働組合連合会	052-883-6955	名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館403
全国福祉保育労働組合東海地方本部	052-881-2971	名古屋市熱田区沢下町8-4 単一会館内
映像・文化関連産業労働組合名古屋分会	052-930-1357	名古屋市東区東桜2-23-7 あいち教育映画内
全国検数労働組合連合名古屋支部	052-651-2449	名古屋市港区入船1-8-30
日本自治体労働組合総連合愛知県本部	052-916-2251	名古屋市北区柳原三丁目7-8
全日本金属情報機器労働組合愛知地方本部	052-883-6984	名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館402
愛知県高等学校教職員組合	052-261-8155	名古屋市中区新栄一丁目49番10号
愛知県国家公務員労働組合共闘会議	052-961-3801	名古屋市中区丸の内三丁目18-12カガワビル7F
タクシー協議会	052-883-6953	名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館406
王子製紙労働組合春日井支部	0568-81-2716	春日井市王子町1
全国印刷出版労働組合総連合会愛知地方連合会	052-822-7281	名古屋市瑞穂区塩入町17番6号 東海共同印刷労組内
郵政産業労働組合愛知県協議会	052-883-6981	名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館408
銀行産業労働組合愛知県支部	052-883-6965	名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館404
東海地域法律関連労働組合愛知支部	052-323-6848	名古屋市中区上前津1丁目1-3 マスミビル3F
通信産業労働組合愛知支部	052-251-2790	名古屋市中区大須4丁目14-57 山岸ビル56号室
愛知県私立学校教職員組合連合	052-881-4346	名古屋市熱田区沢下町8番4号 単一会館内
全日本港湾労働組合東海地方名古屋支部	052-652-1421	名古屋市港区入船一丁目8番26号

愛労連加盟組織一覧表（地域労連）

地域名	電話番号	住 所
千種・名東地域労働組合総連合	052-731-5790	名古屋市千種区仲田二丁目19-11 はとビル3f
名古屋東区労働組合総連合	052-937-3173	名古屋市東区筒井1丁目13-7
名古屋北区労働組合総連合	052-916-2140	名古屋市北区黒川本通3丁目65 スクエア黒川305号
名古屋西地域労働組合総連合	052-532-1571	名古屋市西区浅間二丁目6番8号
全労連愛知・中村地域労働組合センター	052-453-0282	名古屋市中村区竹橋町24-17 栄和ビル1階
全労連・名古屋中地域労働組合センター	052-961-5867	名古屋市中区丸の内三丁目18-12ガガビル7F
愛労連・昭和区労働組合センター	052-731-8471	名古屋市昭和区阿知通1-23 曙ビル2F南
瑞穂区労働組合総連合	052-822-7281	名古屋市瑞穂区塩入町17-6 東海共同印刷労組内
熱田地域労働組合総連合	052-682-0938	名古屋市熱田区旗屋町504榎原ビル2F 名プロ熱田センター
名古屋中川地域労働組合センター	052-362-9305	名古屋市中川区中郷一丁目142番地
港地区労働組合協議会	052-661-4111	名古屋市港区入船1-8-21 名港管理組合職員労組内
名古屋南地域労働組合総連合	052-824-1211	名古屋市南区呼継4丁目12-32 パークハイツA棟
守山地域労働組合連合	052-794-0457	名古屋市守山区小幡5-3-14 ブラザービル3F 地区センター
愛労連緑地域労働組合センター	052-625-0950	名古屋市緑区鳴海町字花井9-3 ラフォーレ鳴海1B号
愛労連・天白地域労働組合センター	052-833-3501	名古屋市天白区元八事五丁目101-1
東三河労働組合総連合	0532-54-2011	豊橋市中柴町100
全労連岡崎・額田地域労働組合センター	0564-31-5064	岡崎市橋目町御領田1 川本製作所労組気付
西三河南地域労働組合総連合	0566-43-2022	碧南市松本町28 碧南市職員組合内
全労連 豊田・加茂労働組合総連合	05613-4-5057	西加茂郡三好町大字打越字生賀山18 ナトコ労組内
尾張中部地区労働組合総連合	0568-89-3393	春日井市鳥居松町5-32 ザ・ペントゴン4F
一宮地区労働組合総連合	0586-72-9728	一宮市大江二丁目7-24
海部・津島労働組合総連合	0567-52-2121	海部郡十四山村鮫ヶ池3-37 東洋工機内 JMIU東洋工機支部気付
尾北地域労働組合総連合	0568-62-4141	犬山市大字犬山字東畑36 犬山市職労内
尾張東地域労働組合総連合	0561-84-4760	瀬戸市追分町64-1 瀬戸市職労気付
知多地域労働組合総連合	0569-22-8548	半田市東洋町2-1 半田市職員組合気付

編集後記

愛労連が結成されて十年となりました。あなたはこの十年間、何を目標に参加してこられましたか。その夢はどれほど実現しましたか。何ができ、何ができるなかつたとお思いでしようか。これから十年は、何を期待し、活動されますか。

この小冊子「愛労連10年の歩み」は結成時の熱い、熱い思いを後にとどめ、愛労連創造期の決起盛んにたたかつた主な部分を記録に残したものですが、紙幅が限られていて、各単産や地域労連の活動が十分に把握されていない面があります。その不足分を補うため、この冊子を利用し、もう一度それぞれの組織で10年の総括討論をお願いします。それは必ず新しい十年のジャンプ台を築きます。

近づきすぎると、富士の山の雄大さは見えません。私はこの十年、選択の正しさと大きな基本的な前進があつたと確信しています。編集委員のみなさんは、大変忙しく、小冊子をつくることで精一杯で、全員がそろい十分な討論をすることができませんでした。私は、そのことに責任を感じています。是非、討論をしたいものです。

編集委員長 土井 照雄

10周年記念事業実行委員会

実行委員長 伊豆原 直(副議長)
事務局長 伊藤むつを(事務局次長)

加藤瑠美子(副議長)
堀川 侑男(副議長)
土井 照雄(副議長)

渡辺 博子(副議長)

田上 光徳(幹事)

平田 茂(幹事)

尾崎 吉政(幹事)

森 雅子(幹事)

見崎 徳弘(事務局長)

永井 和彦(幹事)

坂崎 利雄(顧問)

井上 進(顧問)

「愛労連10年の歩み」編集委員会

編集委員長 土井 照雄
伊豆原 直

田上 光徳
平田 茂

伊藤むつを

永井 和彦

『愛労連10年の歩み』

発行 愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町8-18
○五二一八七一・五四三三
発行日 一九九九年十一月十三日

印刷 株東海共同印刷